

**(仮称) 岐阜市未来ビジョン  
における未来都市像検討  
に向けた基本的方向の整理  
(案)**

**平成 29 年 11 月  
岐阜市**

## <目次>

1	(仮称) 岐阜市未来ビジョンにおける 未来都市像検討に向けた基本的方向の整理にあたって	1
2	(仮称) 岐阜市未来ビジョンとは	2
	(1) 本ビジョン検討の背景	2
	(2) (仮称) 岐阜市未来ビジョンのイメージ	2
3	現行の総合計画の振り返り	4
	(1) 政策大綱	5
	(2) 「岐阜市の近未来図」指標の改善状況	6
	(3) 「岐阜市の近未来図」を実現する 「政策の基本方針」や「行財政運営の基本方針」の成果指標	7
	(4) 政策評価(満足度)と優先度(平成28年度市民意識調査)	8
4	これまで聴いてきた市民の皆様のご意見	11
	(1) 平成28年度市民意識調査	12
	(2) 市民会議	14
	(3) 市民ワークショップ	16
	(4) 各種団体等のご意見	19
	(5) 皆様のご意見から見える未来(将来)に向けた想いの視点	20
	(6) 岐阜市の将来に関する意見募集	21

5	有識者会議で示されたお考え	2 3
	(1) 有識者会議の概要	2 3
	(2) 有識者会議のお考えを踏まえた行政として持つべき視点	2 4
6	世の中の大きな流れ	3 0
	(1) 世界情勢	3 0
	(2) 国内情勢	3 2
	(3) 岐阜市の状況	3 6
7	未来都市像検討に向けた基本的方向の整理	4 8
8	おわりに	5 4

# 1 (仮称) 岐阜市未来ビジョンにおける 未来都市像検討に向けた基本的方向の整理にあたって

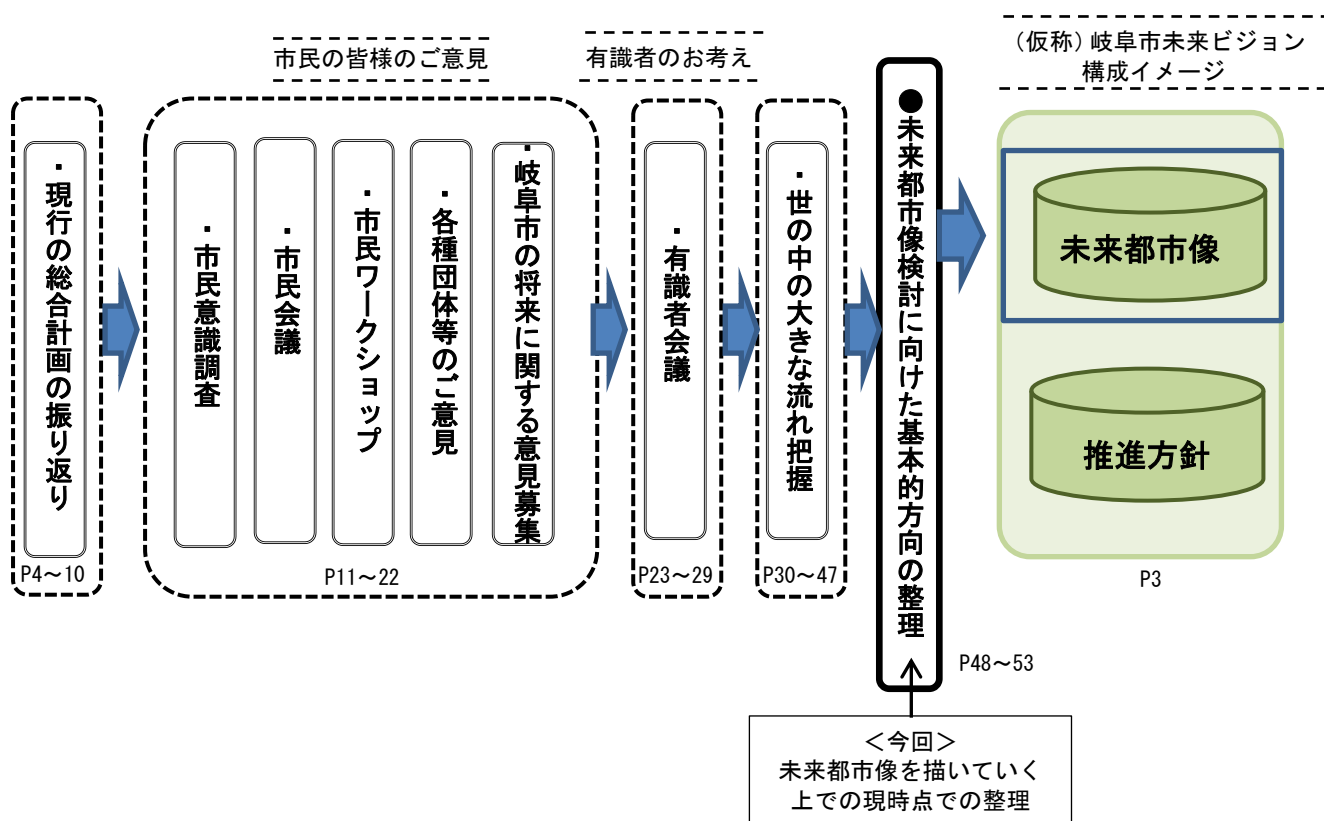
今後、日本は、世界の先進国に先立ち、本格的な人口減少社会に突入し、少子高齢化が進行していきます。人口減少と少子高齢化は、地方のみならず社会全体のあり方にも関わる大きな問題であり、基礎自治体を取り巻く環境は大きく変化していきます。

このように変化が著しく、前例なき時代を迎える中で、世界における日本の、さらには地方都市の立ち位置や役割を大局的に捉え、やわらかい構想力をもって、未来をデザインすることが重要です。

そこで、現行の総合計画に代わる、本市の現実的かつ全市的な経営の視点に基づいた新たな方針を示すものとして、現在、本市では、(仮称) 岐阜市未来ビジョン（以下「本ビジョン」という。）の検討を進めています。

本市の向かうべき未来への目印になる本ビジョンは、市民の皆様と共有する未来都市像を掲げることが必要で、多くの市民の皆様の声や有識者のお考えを聴いてきました。

これまでのご意見を踏まえ、現時点の本市の大まかな未来の方向を、本ビジョンにおける未来都市像の基本的方向の案として、このたび整理しましたので、お示しいたします。これを出発点に、今回のパブリックコメントなどを通じて、さらに多くの市民の皆様からご意見をいただきながら、岐阜市の未来の姿を一緒に描いていきたいと考えています。



## 2 (仮称) 岐阜市未来ビジョンとは

### (1) 本ビジョン検討の背景

現行の「岐阜市総合計画 2013-2017」の基本計画が平成 29 年度に終了することから、まず、基本構想部分の内容を点検したところ、普遍的理念を掲げているものの、策定から 13 年の時が経ち、社会的変化に対応しきれていない箇所が見受けられました。

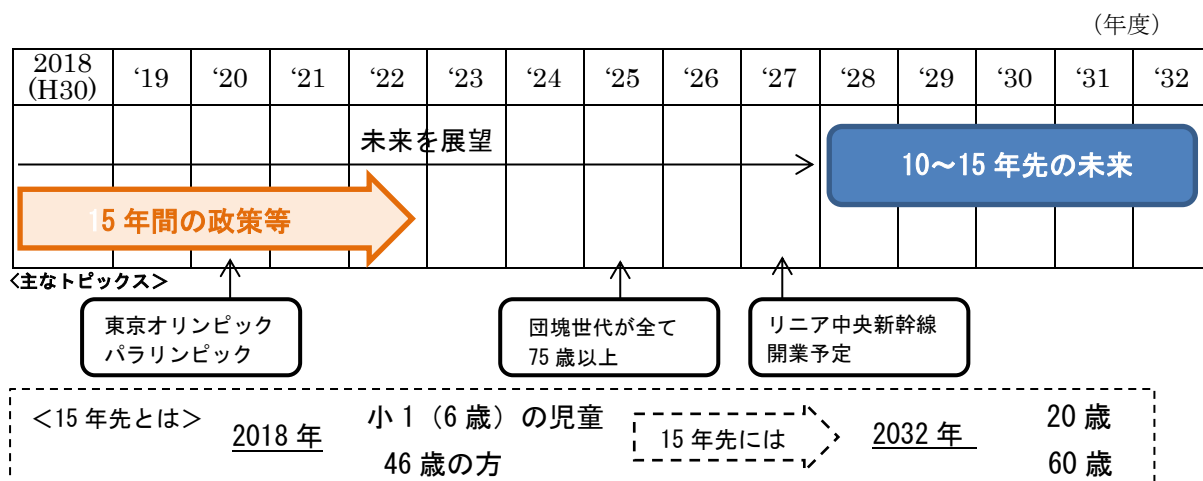
また、地方分権改革の推進の中で、地方自治法上の基本構想の策定義務が廃止され、自治体の責任、裁量で、その策定が選択できるようになりました。こうして総合計画の位置づけが変わる中、中長期の市全般にわたる行政運営を展望すれば、選択と集中をより厳格化し、経営の視点を重視した新たな方針は今後も必要であるという思いから、本ビジョンの検討を始めました。

### (2) (仮称) 岐阜市未来ビジョンのイメージ

#### ① 未来都市像と政策・施策などの期間

本ビジョンにおける未来都市像は、社会経済の著しい変化の状況を踏まえつつ、目先のことに捉われることで大局的な視点を損なわないよう、10~15 年先を想定することが適切ではないかと考えています。

また、未来都市像の実現に向けた政策・施策などについては、5 年間で適切ではないかと考えています。



## ② 構成イメージ

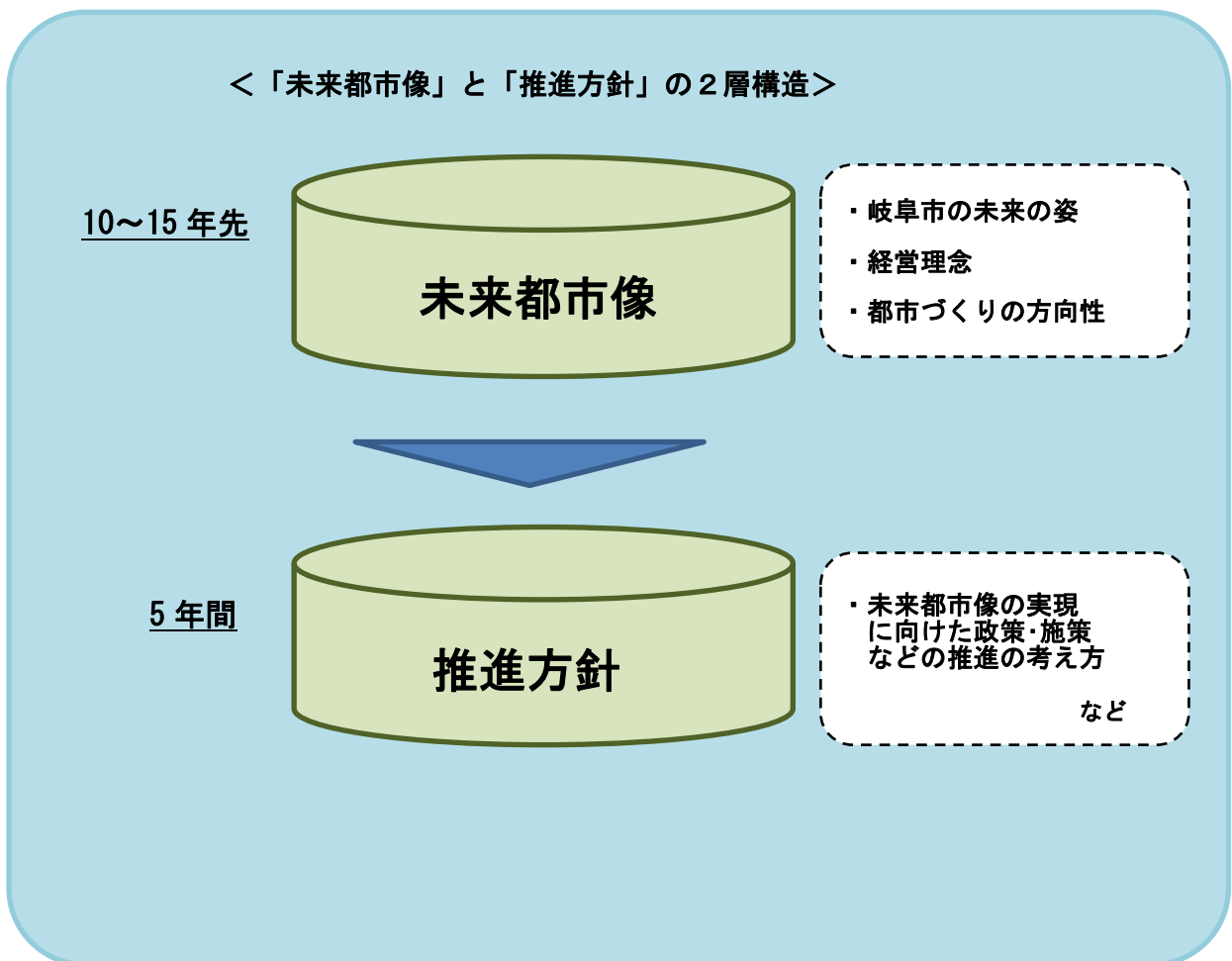
本ビジョンは、次のような構成をイメージしています。

### 未来都市像

岐阜市が、どのような方向へ進もうとしているか、岐阜市の未来の姿、経営理念、都市づくりの方向性を定めていきたいと考えています。

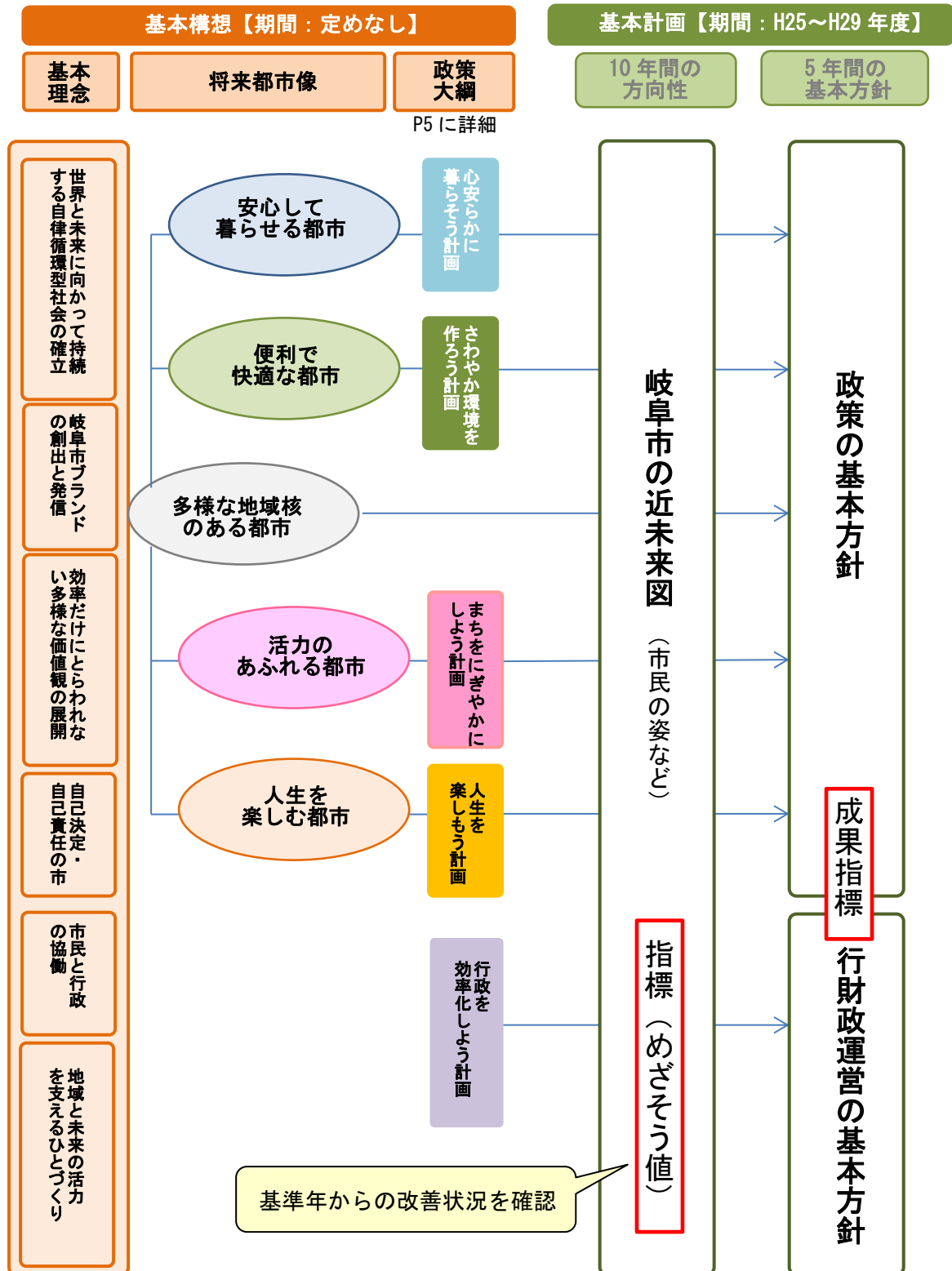
### 推進方針

岐阜市の未来の姿の実現に向けた政策・施策などの推進の考え方などを定めていきたいと考えています。



### 3 現行の総合計画の振り返り

本ビジョンにおける未来都市像を検討するにあたり、まず現行の総合計画を振り返ります。平成 24 年度に策定した現在の計画である岐阜市総合計画（「ぎふ躍動プラン・21」）の体系は次のとおりです。



## (1) 政策大綱

岐阜市総合計画（「ぎふ躍動プラン・21」）における政策大綱は、政策や施策事業などを整理し、当計画の基本構想に掲げる将来都市像実現に向けての課題や事業相互の関係などを明らかにする基本的な枠組みで、次のような内容になっています。

### <心安らかに暮らそう計画>

「安心して暮らせる都市」の実現のために、少子化への対応や、様々な福祉サービスの提供や、保険制度の運用、予防や医療を行い、犯罪や交通事故、自然災害などの未然の防止と対策を図ります。さらに、すべての人に対して平等で差別のない社会意識や社会環境の創出に努めるとともに、市民が相互に助け合い支え合うことができるような、地域共同体とその制度の充実を図ります。

### <さわやか環境をつくろう計画>

「便利で快適な都市」の実現のために、資源やエネルギーを循環的に利用する構造の確立に努め、人の生活と自然環境との関係の理解、調和を図りながら、自然環境そのものの快適さや美しさを保全し、これを損なわないような生活の快適性や利便性の向上を図ります。

### <まちをにぎやかにしよう計画>

「活力のあふれる都市」の実現のためには、都市の本来の機能の一つである交流環境の充実を図ります。また、交流の一つの側面でもある観光については、既存観光資源の刷新と都市観光、滞在型観光といった新しい形の観光の創出を図ります。更には、都市の基礎的体力にあたる諸産業の活性化や、就労環境の充実を図ります。

### <人生を楽しもう計画>

「人生を楽しむ都市」の実現のため、市民が行政とともにまちづくりを担うことの喜びを実感できるような協働の仕組みをつくり出し、地域にまつわるいろいろな人や事柄に関することを学び、これを現実に生かすことによって充実感を得ることができるようにしていきます。また、誰もが性別にとらわれなくて、あらゆる分野に参画できるような社会の形成を図り、世界の多くの地域の人たちとの交流や理解を深めて、国際化に対応するとともに、地域とのつながりを生かしたひとづくりを図ります。

### <行政を効率化しよう計画>

将来都市像の実現を目指した施策の展開について、行政は、施策全般の意義を明確化し、情報化の推進や民間活力の導入、計画的な行財政運営などによって効率化に努め、より少ない市民の負担による行政運営を図ります。また、個人情報等の安全性を確保しながら積極的に情報を公開して、市民との協働を図り、市民の意志に基づいた行政を目指します。



## (2) 「岐阜市の近未来図」指標の改善状況

「岐阜市の近未来図」の市民の姿を表す指標（めざそう値）を設け、基準年度からの改善状況を見ています。（表1）

◆表1 指標の改善状況（平成28年度末）○：基準値を上回る △：基準値を下回る

政策大綱	指標	基準値	直近実績	改善状況
心安らかに暮らそう計画	健康状態に満足している人の割合	50.7% (H21)	53.6% (H26)	○
	子育ての楽しさを実感している人の割合 (就学前児童)	87.8% (H20)	90.9% (H25)	○
	合計特殊出生率	1.39 (H22)	1.48 (H27)	○
さわやか環境をつくろう計画	自然の豊かさを実感している人の割合	85.7% (H23)	93.6% (H28)	○
	二酸化炭素排出量	207.8万t (H17)	194.0万t (H25)	○
まちをにぎやかにしよう計画	産業や就労環境の豊かさを実感している人の割合	4.4% (H23)	7.7% (H28)	○
	完全失業率	5.89% (H22)	3.62% (H27)	○
人生を楽しもう計画	将来の夢や目標をもっている生徒の割合	70.9% (H21)	67.9% (H28)	△
	高等学校卒業者の進学率	71.9% (H23)	71.6% (H28)	△

※現時点（H29.10）で数値が公表されていないなど、比較できない3指標は除いています。



○基準値を上回る指標の割合：約78%（=7指標/9指標）

「心安らかに暮らそう計画」、「さわやか環境をつくろう計画」、「まちをにぎやかにしよう計画」は、いずれの指標も基準値から改善しています。

一方、「人生を楽しもう計画」は、2つの指標とも基準値を下回っており、今後の課題として捉える必要があります。

全体的には、岐阜市の近未来図に近づいていると考えられます。（表1）

(3) 「岐阜市の近未来図」を実現する  
「政策の基本方針」や「行財政運営の基本方針」の成果指標

「岐阜市の近未来図」の実現に向けた「政策の基本方針」や「行財政運営の基本方針」の成果指標を設け、基準年度からの改善状況を見ています。(表2)

◆表2 成果指標の改善状況(平成28年度末)

政策大綱	基準値を上回る 又は同等	基準値を下回るが 前年度を上回る	基準値及び前年度 を下回る	計
心安らかに暮らそう計画	13	2 (相談相手がいる人の割合等)	1 (メタボリックシンドローム該当者と予備群の割合等)	16
さわやか環境をつくろう計画	13	0	1 (森林施業率)	14
まちをにぎやかにしよう計画	8	1 (柳ヶ瀬周辺歩行者等自転車通行量)	3 (中心市街地の居住人口の社会増減数等)	12
人生を楽しもう計画	15	1 (信長学フォーラム参加応募者数)	5 (生涯学習に取り組んでいる人の割合等)	21
行政を効率化しよう計画	7	1 (市役所来庁者へのサービスに対する満足度)	2 (パブリックコメント手続1件あたりの意見提出数等)	10
合計	56	5	12	73

※現時点(H29.10)で数値が公表されていないなど、比較できない6指標は除いています。



○基準値を上回る(又は同等)指標の割合:

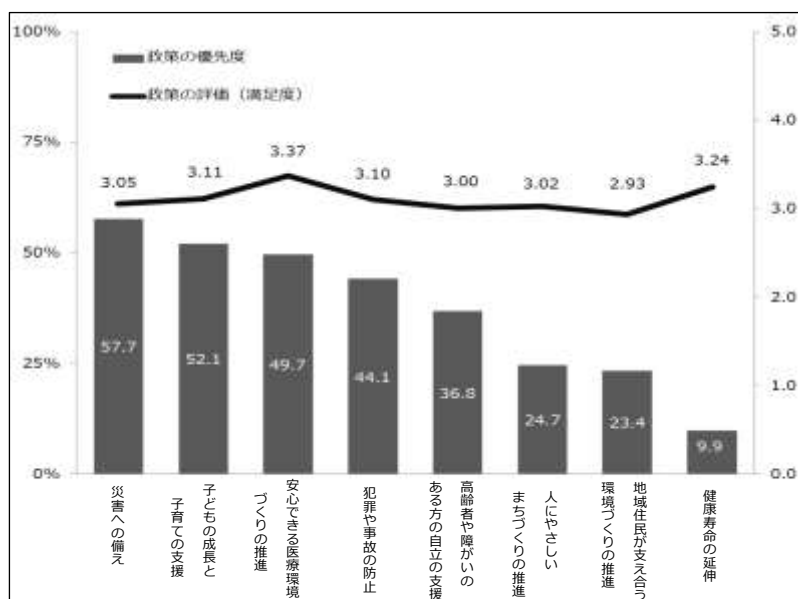
心安らかに暮らそう計画	→約81%	(=13指標/16指標)
さわやか環境をつくろう計画	→約93%	(=13指標/14指標)
まちをにぎやかにしよう計画	→約67%	(=8指標/12指標)
人生を楽しもう計画	→約71%	(=15指標/21指標)
行政を効率化しよう計画	→約70%	(=7指標/10指標)

「まちをにぎやかにしよう計画」は、基準値を上回る(又は同等)成果指標の割合が約67%と、ほかに比べ低くなっています。(表2)

#### (4) 政策評価（満足度）と優先度（平成 28 年度市民意識調査）

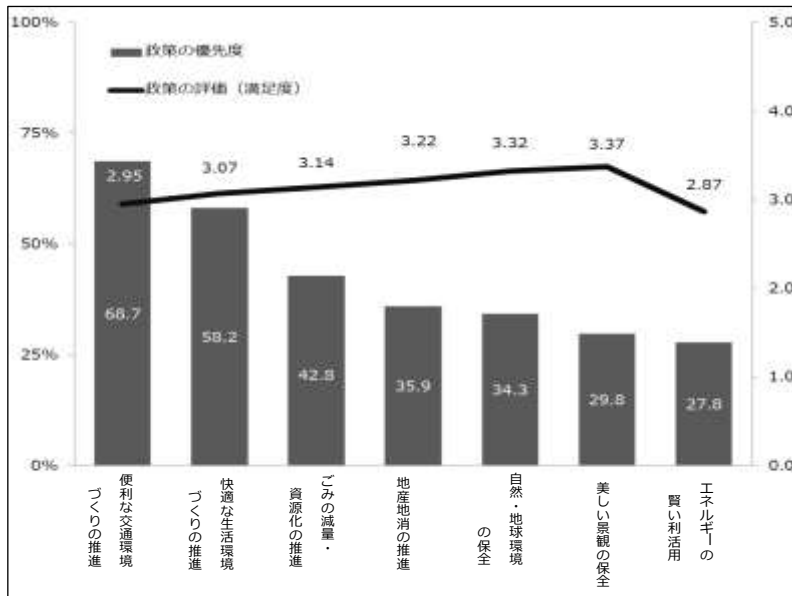
前 2 節にお示したような客観的な把握のほか、これまで取り組んできた政策に対する主観的な評価（満足度）と優先度についても市民の皆様にお聴きしました。

◆図 1 「安心して暮らせる都市」づくりを進める政策（心安らかに暮らそう計画）の評価（満足度）と優先度



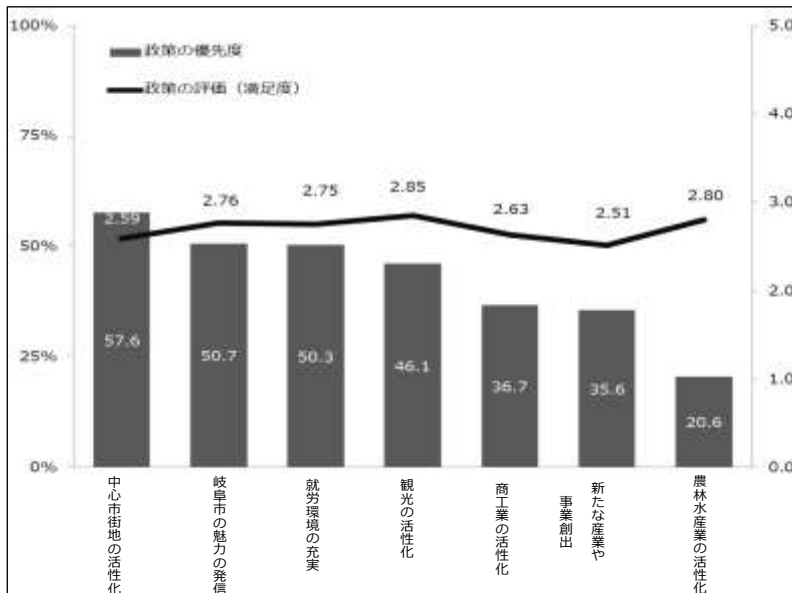
・「災害への備え」、「子どもの成長と子育ての支援」の優先度が 50%を超え、ほかに比べ高くなっています。評価はいずれも 5 段階の 3 に近い数値です。(図 1)

◆図2 「便利で快適な都市」づくりを進める政策  
 (さわやか環境をつくろう計画) の評価(満足度)と優先度



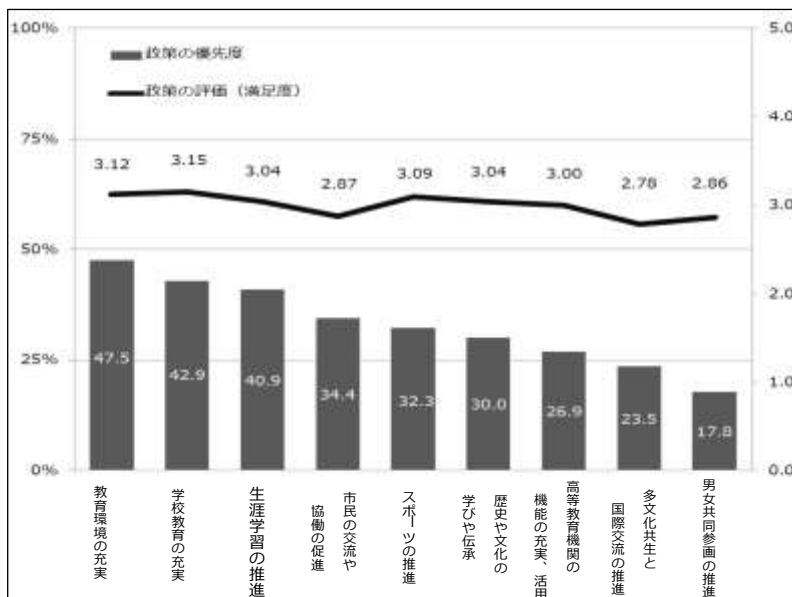
・「便利な交通環境づくりの推進」、「快適な生活環境づくりの推進」の優先度が 50% を超え、ほかに比べ高くなっています。評価はいずれも 3 に近い数値です。(図 2)

◆図3 「活力のあふれる都市」づくりを進める政策  
 (まちをにぎやかにしよう計画) の評価(満足度)と優先度



・「中心市街地の活性化」、「岐阜市の魅力の発信」、「就労環境の充実」の優先度が 50% を超え、ほかに比べ高くなっています。評価は「中心市街地の活性化」、「新たな産業や事業創出」が、他の政策に比べ低い数値です。(図 3)

◆図4 「人生を楽しむ都市」づくりを進める政策  
 (人生を楽しもう計画)の評価(満足度)と優先度



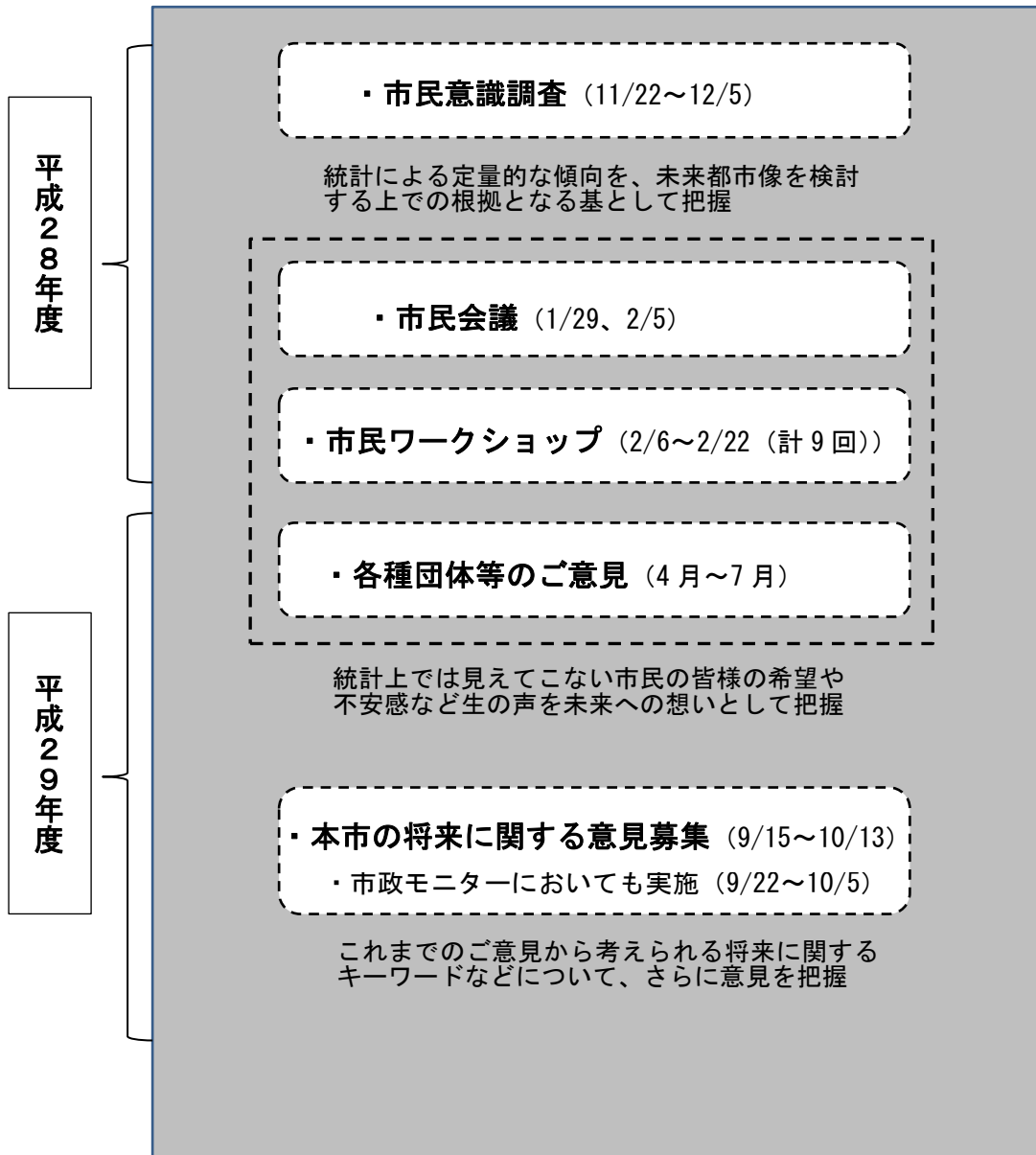
・「教育環境の充実」、「学校教育の充実」の優先度がほかの項目に比べて高くなっています。評価は、いずれの項目も3に近い数値となっています。(図4)

**成果指標の改善状況と評価、優先度を踏まえた現行の総合計画の振り返りとしての総括**

- ・「活力のあふれる都市」づくりを進める政策は、他の政策よりも全体的に評価(満足度)が低い傾向が見られます。その中でも「中心市街地の活性化」、「新たな産業や事業創出」は他の項目に比べ低い数値となっています。(図3)  
 これは、7ページでお示しましたように、関連する「まちをにぎやかにしよう計画」の成果指標の改善状況が低いことが一因として考えられます。(表2)  
 そのため、今後は、「活力のあふれる都市」に向けた政策の推進が課題として考えられます。
- ・また、そのほかの政策については、総じて5段階で3に近い数値になっており(図1、図2、図4)、かつ、7ページでお示しましたように、関連する計画の成果指標の改善状況も70%を超えていることから(表2)、現行の総合計画に基づく政策については、一定程度進んでいると捉えることができます。

#### 4 これまで聴いてきた市民の皆様のご意見

未来都市像の検討にあたっては、その経過の中で、市民の皆様に参加いただくことが重要であることから、これまで、次のように、さまざまな手法を通じて、市民の皆様からご意見を伺ってきました。



## (1) 平成 28 年度市民意識調査

本市の将来のまちづくりに対する市民意識等の定量的な傾向を見るために、無作為抽出によるアンケート調査を行いました。

【期間】 H28 11/22～12/5

【対象】 一般市民 5,100 人 他（無作為抽出）

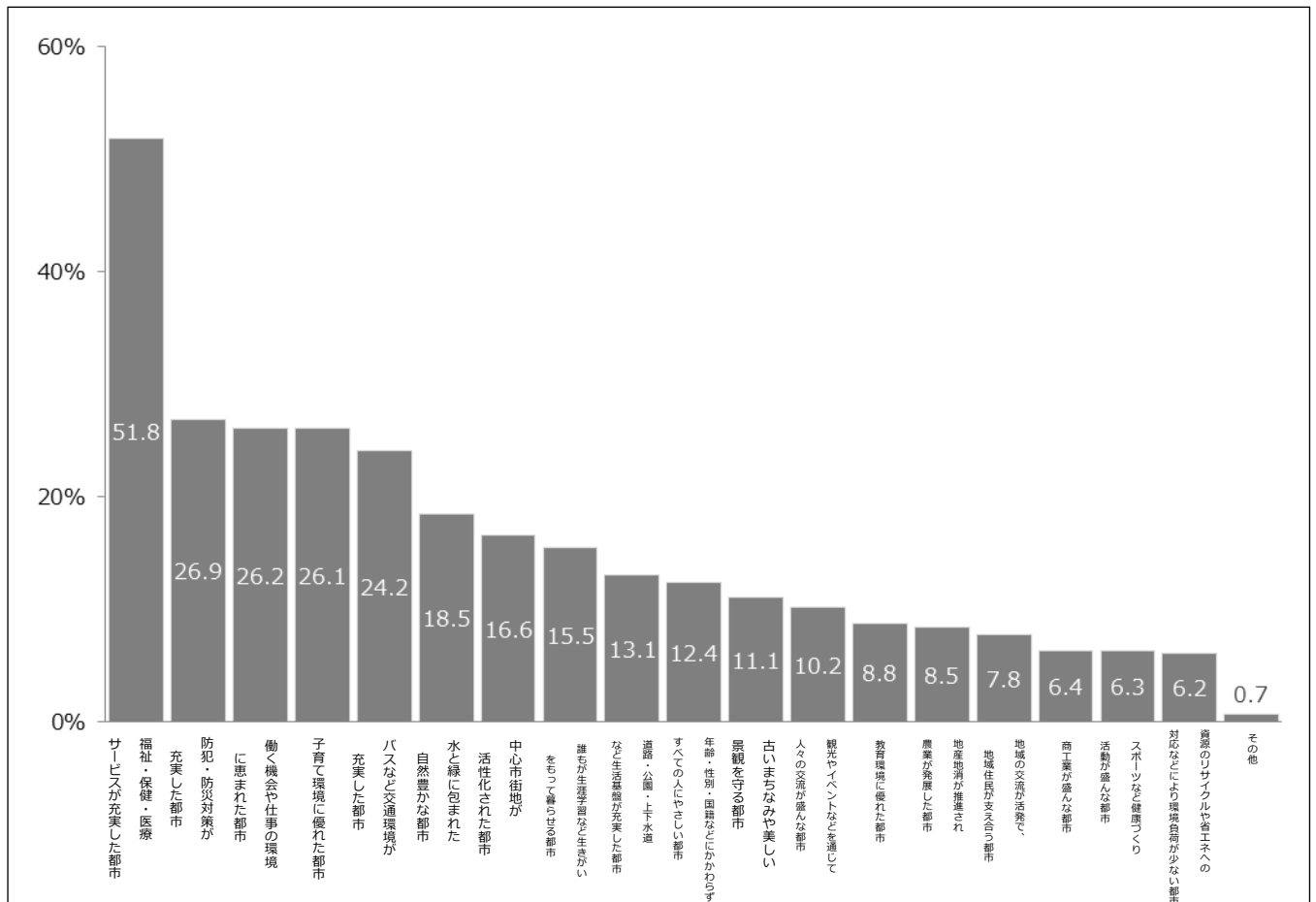
※一般市民：満 15 歳以上（中学生、外国人市民除く）、有効回収数 2,168（有効回収率 42.5%）

※一般市民以外にも外国人市民、転出者、中学生を対象とした調査も実施

【調査内容】 おおよそ 10 年後の将来像（考えに近いものを 3 つ選択）など

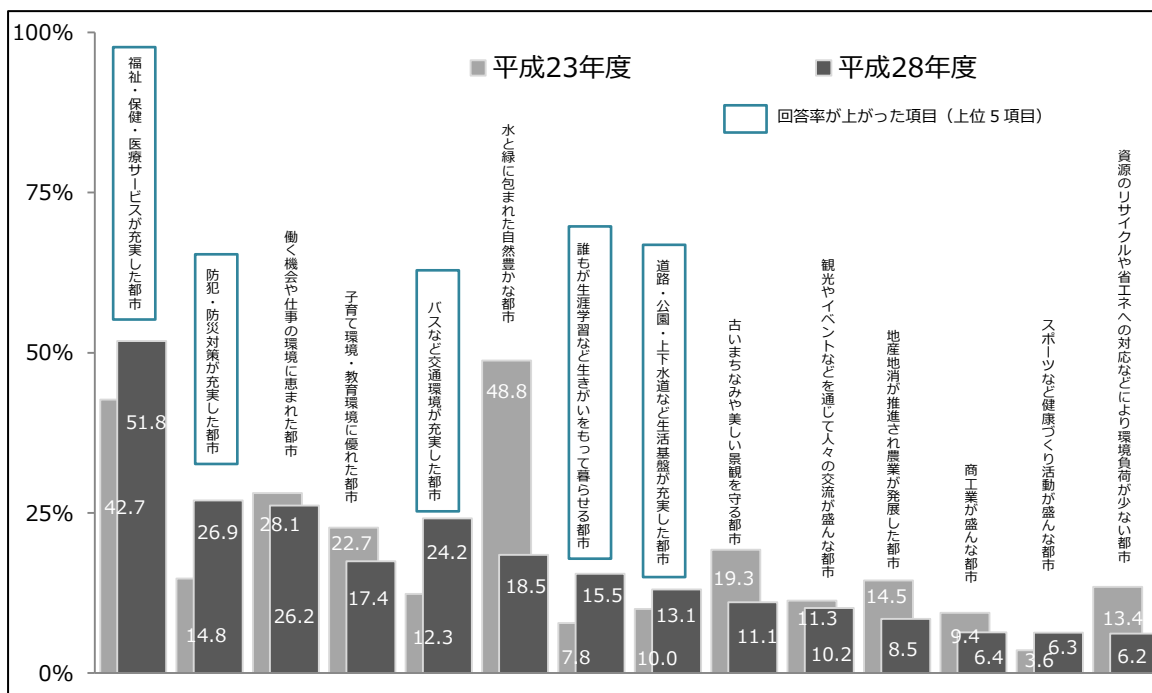
【下記結果】 「おおよそ 10 年後、岐阜市がどのような都市になってほしいと思いますか。」について

◆図 5 岐阜市の将来像に関する回答率



本市の未来を考える上で、福祉、保健、医療、防犯、防災、働く環境、子育て、交通などへの、関心の高さを傾向として確認することができます。（図 5）

◆図6 将来都市像に関する平成23年度調査結果との比較



※比較可能な選択肢のみを掲載。

選択肢が平成28年度調査時に分割または結合された場合については、比較可能なものを、結合、分割して算出。

この5年間で、福祉、保健、医療、防犯、防災、交通とともに、生きがいや生活環境（生活基盤）については、回答率が上昇しており、関心も高まっていることが分かります。（図6）



## (2) 市民会議

市民の皆様から将来のまちづくりについて、多様かつ具体的な提案をお聴きするため、ワークショップ形式での意見交換を行い、共有しました。

【期間】H29 1/29、2/5

【参加者】計 44 名（男性 26 名、女性 18 名）

市民意識調査対象者への募集に対する応募者 75 名のうち参加された方

【テーマ】おおよそ 10 年後の岐阜市の未来

(教育・子育て・健康など／産業・観光など／防災・中心市街地・公共交通など ※分野は予め設定)

◆表 3 主な意見

<p>教育・ 子育て・ 健康など</p>	<p>(教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な教育を受けられるまち</li> <li>・子ども、外国人、社会人、誰でも平等に教育が受けられる街</li> <li>・学校教育自体が楽しくて活気あるまち</li> </ul> <p>(子育て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを安心して産んで育てられる町</li> <li>・皆がやさしく自主的に助け合って子育てできる街</li> <li>・地域が協力して、安心安全に子供を育てられる街</li> </ul> <p>(健康)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心も体も元気に生き生きのまち</li> <li>・身近に体を動かして健康長寿を保てる街</li> <li>・健康寿命が日本一のまち</li> </ul> <p>(医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未然に病気を防ぐ政策が充実した街</li> </ul> <p>(生きがい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなとともにまちをつくり、人任せにせず生き生きと</li> </ul>
<p>産業・ 観光など</p>	<p>(産業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい産業を誘致していける街</li> </ul> <p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源を生かしてイベント行事があふれるまち</li> </ul> <p>(働く場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の就きたい職業があるまち</li> <li>・若者が楽しく安心して働けるまち</li> <li>・老若男女、地元の人が働ける環境のある街</li> <li>・雇用を創出し、人・もの・金が集まる街</li> </ul>

	<p>(活力など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人の力を支援するまち</li> <li>・清流を十二分に活用したまち</li> <li>・外国人も不便なく楽しめる街</li> <li>・何度でも来てもらえる街</li> <li>・岐阜市は〇〇だと誇れる街</li> <li>・今ある魅力を効果的にPRできる街</li> </ul>
<p>防災、 中心市街地、 公共交通 など</p>	<p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な災害に対して安全な避難場所が十分に確保された街</li> </ul> <p>(中心市街地活性化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャッター通りではないにぎわいのあるまち</li> </ul> <p>(公共交通)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の方も移動しやすい便利な交通機関が整ったまち</li> <li>・誰もが行きたい場所に行ける街としたい</li> </ul> <p>(定住)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代を超えて多くの人が住みたくなる街</li> </ul> <p>(地域の助け合いなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人顔が見える(助け合い)地域のつながりのあるまち</li> <li>・共助を中心とした安全なまち</li> <li>・市民の力を活力として生かしていける街でありたい</li> <li>・地域の特性を知りきずなで助け合えるまち</li> </ul>

幅広い分野についての意見が出された中でも、教育、子育て、健康の充実などとともに、地域の活力に向けた働く場づくりや中心市街地の活性化、地域の助け合いについて意見が多く出されました。(表3)

### (3) 市民ワークショップ

市民の皆様の本市の将来像に対する想いやご意見をお聴きするため、ワークショップ形式での意見交換を行い、共有しました。

【期間】H29 2/6～2/22（うち計9回）

【開催場所】市内9ヶ所

【参加者】計191名（男性168名、女性23名）

【年齢構成】10代：0%、20代：0%、30代：2%、40代：4%、50代：4%、60代：45%、70代以上：43%、未記入2%（回答のあった176名を対象）

【テーマ】10年後には、こんな岐阜市に住みたい、なってほしい

#### ◆表4 主な意見

(教育)

- ・フリースクール（居場所づくり）など、子どもからお年寄りの住みよい環境を作り出せるような地域のひとづくり【南部コミセン】

(子育て)

- ・子どもファースト 多世代で暮らせるまち【本庁舎】
- ・働く場所があり子育てのしやすい町づくり【東部コミセン】
- ・子育てするなら岐阜【長森コミセン】
- ・安心して子どもや高齢者も暮らせる【市橋コミセン】

(健康)

- ・みんなが健康で元気に出かけられるまち【東部コミセン】
- ・いつまでも元気に【市橋コミセン】

(福祉（高齢者含む）)

- ・高齢者にとって住みやすいまち【本庁舎】
- ・生活都市 高齢者力を生かして【東部コミセン】

(多世代交流)

- ・若い世代と高齢者が交流できる岐阜市【西部コミセン】
- ・地域の歴史・資源を生かしたインフラ整備で四世代が生き生きと暮らせるまち【東部コミセン】
- ・安全・安心 子どもや若い人 そして世代を超えて元気になれる街ぎふ【市橋コミセン】

(生きがい)

- ・誰もがいきいきしているまち【北部コミセン】
- ・岐阜っ子自慢は、いきいきくらしと美しい景観【北部コミセン】
- ・イキイキできる岐阜市【東部コミセン】

(産業)

- ・命を支える商業のまち岐阜【日光コミセン】

(観光)

- ・観光 行ってみたいな岐阜市【西部コミセン】
- ・鶺鴒と歴史の街を活かした観光のまちづくり【東部コミセン】

(歴史・文化)

- ・歴史・文化が誇れるまち【西部コミセン】
- ・地域の歴史・資源を生かしたインフラ整備で四世代が生き生きと暮らせるまち【東部コミセン】(再掲)
- ・鶺鴒と歴史の街を活かした観光のまちづくり【東部コミセン】(再掲)

(働く環境)

- ・働く場所があり子育てのしやすい町づくり【東部コミセン】(再掲)

(活力)

- ・若い人がチャレンジしやすい環境づくり【本庁舎】
- ・若者にとって暮らしやすいまち【本庁舎】
- ・人が集まる【東部コミセン】
- ・岐阜市が元気に【市橋コミセン】

(防犯)

- ・地域、地域に合った安全・安心な町づくり【西部コミセン】
- ・次世代へつなぐ安心・安全な誇れるふるさと【東部コミセン】

(中心市街地活性化)

- ・メディコスと市役所と柳ヶ瀬を巡回BUSでつなぐ【市橋コミセン】

(交通)

- ・どちらへも行きやすく使いやすい公共交通のあるまち【市橋コミセン】
- ・交通が便利【北部コミセン】
- ・若い人の力を借りて岐阜に散在する良い所を繋げて魅力アップできる交通システム【西部コミセン】
- ・生活都市 つなぐバス【東部コミセン】
- ・繋ぐ交通インフラ【東部コミセン】
- ・交通の整備(道路、橋、バス)【東部コミセン】

(定住)

- ・文化と観光を充実し魅力ある地域にすることで誰もが住みたくなる岐阜市【市橋コミセン】

(地域の助け合い)

- ・変わらない風景を生かし絆とつながりを大切にする岐阜【北東部コミセン】
- ・地域で連携して協働社会を築く【北部コミセン】
- ・向こう三軒両隣の絆を大切にする【北部コミセン】

- ・住民自治力を確立【長森コミセン】

(生活環境)

- ・自然を活かした生活環境を充実し安全・安心のまちづくり【北東部コミセン】
- ・公園の整備【東部コミセン】
- ・豊かな自然 歴史薫るまち岐阜市【市橋コミセン】

(まち全体)

- ・みんながでかけたくなる住みやすい町【本庁舎】
- ・高速道路 I C を核とした新しい街づくり【日光コミセン】
- ・岐阜ブランドをつくる【日光コミセン】
- ・郊外でも平等なサービスを そんな岐阜市に住みたい【北東部コミセン】
- ・こうなったらいいな ぎふのまち【北東部コミセン】
- ・みんなが好きと言えるまち 岐阜市【北部コミセン】
- ・地域の現在の困りごとは、将来のまちづくりのタカラ（宝）【北部コミセン】
- ・魅力ある企画【東部コミセン】
- ・医・職（食）・住が地元でそろうまちづくり【東部コミセン】
- ・若者が職住近接環境で活躍できる交通インフラ改善【長森コミセン】
- ・市民に丁寧な説明をして計画を進める【南部コミセン】
- ・市の計画に市民の声を取り入れる【南部コミセン】
- ・市民の声をきく岐阜【南部コミセン】
- ・市民による市民のためのまちづくり岐阜市【南部コミセン】
- ・ドリームなまち岐阜市【市橋コミセン】

意見交換を通じて、多世代交流、生きがい、歴史・文化、活力、防犯、交通、地域の助け合い、生活環境などの多様な視点から数多くの意見が出されました。

(表 4)

#### (4) 各種団体等のご意見

前節の市民ワークショップは、60代以上の方が多く、より幅広い層から本市の未来への想いをお聴きするため、若い世代（20～30代）を中心に、各種団体等から意見を聴きました。

【期間】H29 4月～7月

【団体等】学生（岐阜大学、岐阜聖徳学園大学）、子育て世代、障がい者団体、外国人団体、市新規採用職員

【テーマ】10年後には、こんな岐阜市に住みたい、なってほしい

◆表5 主な意見

(学生からの意見)	
・子どもを産み育てやすいまち	
・企業が進出し、経済が活性化したまち	
・子どもや女性が働きたいと思える職場の多いまち	
・岐阜市独自の魅力を岐阜市民も岐阜市外の人も皆が知っているまち	
・高齢者が暮らしやすいまち	
・交通網が発達し、人が移動しやすいまち	
・事故や犯罪の少なく、防災対策が充実し安心して暮らせるまち	など
(子育て世代からの意見)	
・子育てや仕事の両立がしやすいまち	
・災害や犯罪の少ない安全なまち	
・岐阜駅前がにぎやかなまち	
・身近に公園があるまち	など
(外国人団体からの意見)	
・多文化理解が進んでいて、地元の伝統や文化に誇りをもてるまち	
・外国人でもコミュニティに参加でき、公共施設や交通が利用しやすいまち	
・人情味あふれる個人商店やおしゃれな店が共存した、活気あふれるまち	など
(障がい者団体からの意見)	
・障がい者に対する理解が深まったまち	
・災害時に障がい者を含め、誰もが安心して避難でき、避難先で生活できるまち	
・障がい者が障がいの程度に関わらず社会参加ができるまち	など

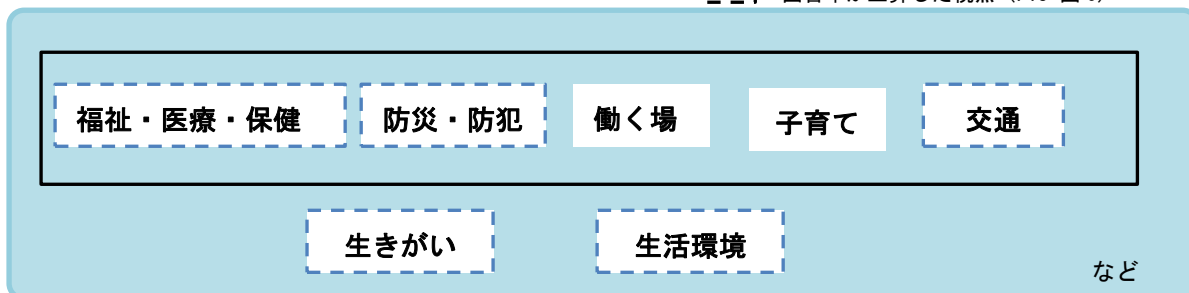
子育てと仕事の両立、防災・防犯などの安全安心のまちづくり、にぎわいの創出、伝統文化への誇り、障がい者福祉などについて、幅広い意見が出されました。(表5)

## (5) 皆様のご意見から見える未来（将来）に向けた想いの視点

市民意識調査、市民会議、市民ワークショップ、各種団体等の岐阜市の未来（将来）に向けた想いの視点を整理しますと、大まかに次のとおりの6つのまとまりが見えてきました。

### ①市民意識調査

□ 回答率が高かった視点 (P12 図5)  
 □ 回答率が上昇した視点 (P13 図6)



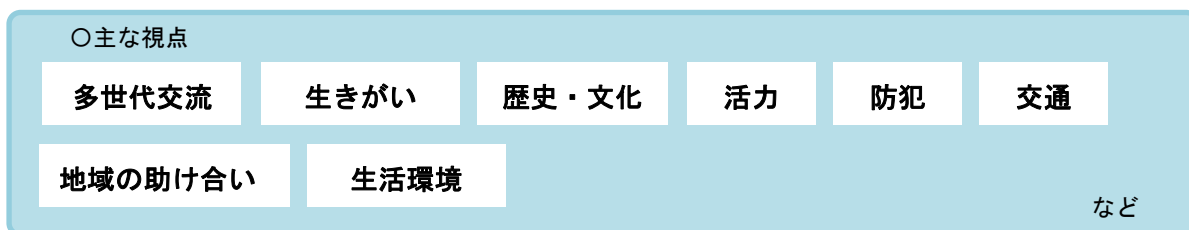
### ②市民会議

○主な視点



### ③市民ワークショップ

○主な視点

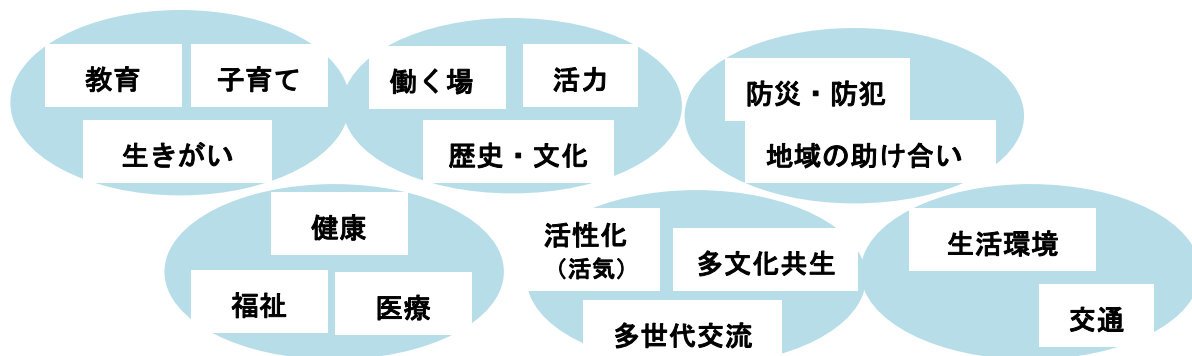


### ④各種団体等のご意見

○主な視点



↓ 大まかに6つのまとまりへ



## (6) 岐阜市の将来に関する意見募集

市民意識調査、市民会議、市民ワークショップなどの多様なご意見から見えてきた6つのまとまりを、岐阜市の将来を考える上で重要と考えるキーワードとしてお示しし、さらに本市の将来への想いを聴きました。

【期間】H29 9/15～10/13（市政モニター：9/22～10/5）

【対象】市内、市外、個人、団体を問わず、どなたでも可（市政モニター※200名含む）  
（市政に関するアンケート調査にご協力いただく市政モニター制度のモニター※200名含む）

【テーマ】①岐阜市の将来を考える上で重要になると考えられるキーワード  
（6つのキーワードから選択（複数回答可））  
②あなたが思う「岐阜市の将来」（自由記載）

表6 岐阜市の将来を考える上で重要になると考えられるキーワードの回答率

キーワード	意見用紙	市政 モニター	計	回答率
教育、子育てが充実し、生きがいと充実を感じるまち	45	126	171	67.3%
福祉や医療が充実し、健康に暮らせるまち	39	130	169	66.5%
自然や公園など快適な生活のあるまち	26	92	118	46.5%
多様な産業が活性化した活力あるまち	34	60	94	37.0%
防災や地域の安全に互いに助け合えるまち	16	71	87	34.3%
多くの人々が集い活気あるまち	25	57	82	32.3%
応募数（実数）	69	185	254	

6つのキーワードの中でも、教育・子育て・生きがいや福祉・医療・健康について7割近い回答率になりました。（表6）

※市政に関するアンケート調査にご協力いただく方々のこと。

内訳：性別：男性64名（32%）、女性136名（68%）

年齢構成：20代：10%、30代：31%、40代：26%、50代：11%、60代：14.5%、  
70代：7%、80代：0.5%



◆表7 その他の主な意見（「岐阜市の将来について」自由記載）

<p>(教育)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・まちづくりは人づくりが基本。教育行政をもっと強力に進めてもらいたい</li></ul> <p>(子育て)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域で子どもを育てる</li></ul> <p>(福祉)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者が経済面はもちろん充実した生活ができる</li></ul> <p>(歴史・文化)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・歴史資産を活用したまちづくり</li></ul> <p>(活力)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・岐阜市の発展に企業育成は不可欠。企業の積極的な誘致に努めてもらいたい</li></ul> <p>(防災・防犯)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大規模災害に強く日本らしい住みやすいまち</li></ul> <p>(活性化)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・柳ヶ瀬の飲食街を活性化し、夜に人が集まる魅力ある柳ヶ瀬に</li></ul> <p>(交通)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自動車がなくとも暮らせるまち、公共交通が発展したまち</li></ul> <p>(生活環境)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・清流長良川にふさわしい自然を目指してもらいたい</li></ul> <p style="text-align: right;">など</p>
--

20 ページでお示しした岐阜市の将来を考える上での6つのまとまりに関連した、様々な意見が出され、未来都市像の大まかな方向の確認ができました。(表7)

## 5 有識者会議で示されたお考え

### (1) 有識者会議の概要

未来都市像を検討していく上で、10～15年先の地方都市のあるべき姿や、世界や日本における立ち位置（役割）についても、多面的な観点から考えていく必要があり、国内の各分野の第一線で活躍されている有識者の方々から大局的、専門的なご示唆をいただきました。

◎共通テーマ；未来の、日本の地方都市のあるべき姿と立ち位置

<第1回>【開催日】H29 8/9

【テーマ】ひとづくりはどうあるべきか

【有識者】竹内薫氏（サイエンス作家）

大日向雅美氏（恵泉女学園大学学長）

宮下公美子氏（介護福祉ライター）

辻哲夫氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）

泉麻人氏（コラムニスト）

<第2回>【開催日】H29 8/22

【テーマ】活力づくりはどうあるべきか

【有識者】波瀾郁代氏（株式会社 JTB 総合研究所 執行役員企画調査部長）

内田俊宏氏（中京大学経済学部客員教授）

深尾光洋氏（慶應義塾大学商学部名誉教授、武蔵野大学経済学部教授、株式会社十六総合研究所顧問）

青野史寛氏（ソフトバンク株式会社常務執行役員）

池田昌人氏（代理出席）（同社人事総務統括 CSR 統括部統括部長）

井上智洋氏（駒沢大学経済学部准教授）

橋本和仁氏（国立研究開発法人物質・材料研究機構理事長）

<第3回>【開催日】H29 10/2

【テーマ】まちをどうかたちづくるべきか

【有識者】木下庸子氏（工学院大学建築学部教授、設計組織 ADH 主宰）

金澤成保氏（大阪産業大学デザイン工学部教授）

村木美貴氏（千葉大学大学院工学研究院教授）

勢一智子氏（西南学院大学法学部教授）

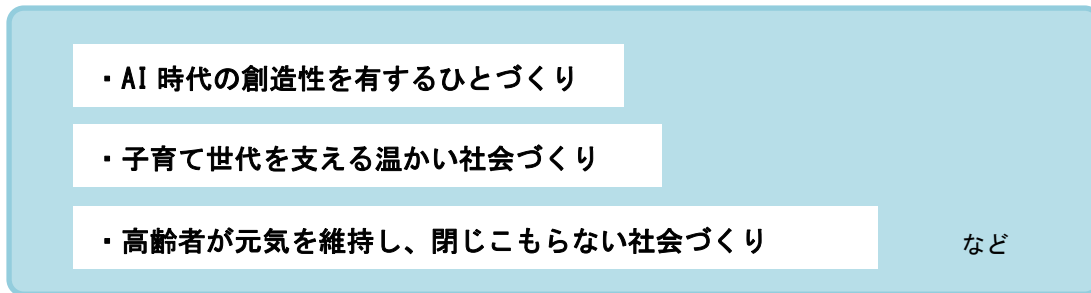
名和田是彦氏（法政大学法学部教授）

## (2) 有識者のお考えを踏まえた行政として持つべき視点

有識者会議においていただいた主な観点を整理しますと、次のとおり、行政として持つべき視点が見えてきました。

### ① ひとづくり

#### ○有識者からいただいた主な観点



#### ○行政として持つべき視点

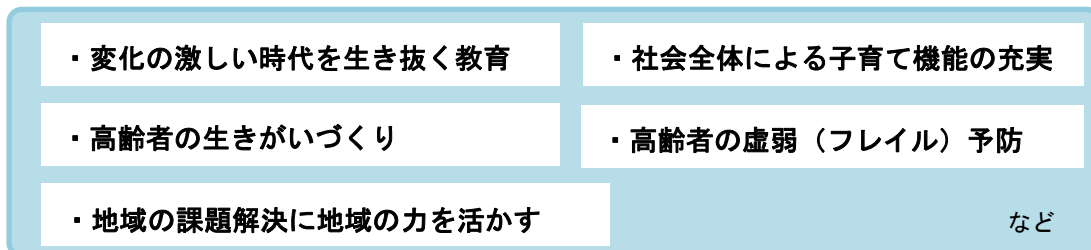


表 8 有識者のお考え（抜粋）

<p>(教育・子育て)</p> <p>【竹内氏】</p> <p>○AI 時代には、マニュアル人間ではなく、創造性を持った人が生き残る。</p> <p>○科学者であっても、母国語で考えることから、主催するインターナショナルスクールでは、日本における思考言語である日本語を徹底的に教えている。</p> <p>【大日向氏】</p> <p>○子育て中の親は、育児疲れなど、支援が実感できず、その親を見つめる人たちも、決して温かくない。</p> <p>○団塊世代に子育てや地域の養成講座を行い、まちのガイド役として活躍いただいている。地域に眠った人財が活躍することは、ニーズの掘り出しにつながる。</p>
---

(医療・高齢者)

【宮下氏】

- 地域づくりがうまくいかない原因に、「地域の持つ力を把握していない」、「どのような地域にしたいかイメージが共有できていない」がある。
- 住民が輝く地域づくりには、「地域を知る」、「楽しくうれしく気持ちいいことをする」、「住民の活動を下支えする」、「それぞれの潜在的な力を活かす」が重要。

【辻氏】

- 高齢者がフレイルと呼ばれる虚弱の時であっても、幸せだという状態にしなくてはならない。弱って車いすになっても、笑顔で生活し続けられるのであれば、弱ることを恐れる必要はない。出来る限り元気を維持し、閉じこもらない社会を作ること。  
住まいで、生活者として最後まで生きること。また、要介護の直前で、要介護の状態を遅らそうとしても難しく、もっと前で兆候を掴む必要がある。
- お年寄り同士で支え合うことには限界があり、地域のステークホルダーをネットワーク化し、地域を守っていかないといけない。

(文化・芸術)

【泉氏】

- 城下町の旧街道沿いなど、いろいろな魅力的な名前のまちがある。
- 地方都市というのは、風土・歴史を大切にし、それを宣伝していくべき。

## ② 活力づくり

### ○有識者からいただいた主な観点

・ 体験（ユーザーエクスペリエンス）を重視した観光振興

・ 人手不足を解消する高齢者の活用

・ 技術革新を活用した生産性の向上

など



### ○行政として持つべき視点

・ 時代の先を見た観光振興

・ 世代を問わない人材活用

・ IT等の技術革新を活用した生産性向上

など

表 9 有識者のお考え（抜粋）

（観光）

【波潟氏】

○観光のメガトレンドは3つ。1つ目はグローバルシフト。市場は欧米からアジアにシフト。2つ目は、デジタルシフト。スマホやSNSで情報の共有が非常に早く進む。3つ目は、ユーザーエクスペリエンス。どのような体験を享受できたかということ。

○80年代後半から90年に生まれたミレニアル世代は、スマホが身近なデジタルネイティブ。他者への影響力が大きく世界的に人口ボリュームがあり、今後の消費を変える世代といわれる。インバウンドの客層は、この世代が多く、志向を知ることが重要。

（産業）

【内田氏】

○地方都市の活性化にはタイムリミットがある。この地域は、26年アジア大会、27年リニア開業を控え、あと10年が勝負であり岐阜市も危機感を持つべき。

○リニア開業により、品川から岐阜までほぼ1時間である、首都圏に近いことや、名古屋圏との近接性を前面に出すべき。

【深尾氏】

○少子高齢化によって介護・医療を中心とした分野で人手不足が深刻化し、無秩序な移民が導入されるのは反対。いかに秩序立てて能力のある人材を受け入れるのが、日本の活力を維持するポイント。

○介護などで比較的健康的な高齢者を活用できないかと思う。年金だけでは、65歳から生活するには無理な状況であり、どうやって延長雇用をやっていくかが課題。

【池田氏】

○企業の経営戦略を考える上で、30年先の近い未来ではなく、さらに遠くを見る必要がある。300年先を見据えるため、300年過去を学ぶべきだとの議論があった。

○変わらないものを定義することが、新30年ビジョンを策定するにあたって重要。

【井上氏】

○特化型AIが、人々の仕事を奪う技術的失業について議論されているが、歴史的には、技術的失業が長期的、全体的に問題になったことはあまりない。技術的失業は、AIに限った話ではなく、絶えず起きていることを認識する必要がある。

○汎用AIにより、さまざまな職業を失う可能性がある。クリエイティビティ、マネジメント、ホスピタリティに係わる仕事は残るとされ、人間の感性、感覚、欲望が土台になる。

【橋本氏】

○サービス産業の生産性向上と地理的不利の克服のため、ITをしっかりと活用すること。地域の大学などには、IT技術に詳しい人が極めて多く、産学連携を特別なものと思わずに使っていくのがポイント。是非、考えてほしい。

○一番重要なのが、Society5.0、超スマート社会という概念。社会の構造自身が変わっていくという日本が提唱したもので、欧米諸国から賛同を得ている。

### ③ まちづくり

#### ○有識者からいただいた主な観点

- ・ 人としてのゆとりや絆を意識した地方の都市づくり
- ・ 人口減少を見据えたコンパクトなまちづくり
- ・ 都市の住民が認めるその都市の価値がまちづくりの方向
- ・ 地域福祉など新たな地域課題に取り組みつつ開かれた地域コミュニティの再生

など



#### ○行政として持つべき視点

- ・ 人口減少に対応した都市構造の構築
- ・ 住民が担うまちづくりの方向性
- ・ 人口減少下の地域コミュニティの強化

など

表 10 有識者のお考え（抜粋）

（まちづくり・地方行政）

#### 【木下氏】

○キーワードは 4 つある。1 つ目は、歴史的遺産の継承。真壁伝承館では、歴史を継承しつつ現代の建築を造った。2 つ目は、住みたい街を意味するグッドアドレス。工場跡地から新しい街並みをつくった際は、グッドアドレスを意識しながら、生活感のあるまちをイメージした。3 つ目は地のデザイン。集合住宅のバリューアップ修繕では、通過交通がある中庭にストライプ状の石貼りをし、人が滞在できる場所を作った。4 つ目は小さな景観運動。身近なという発想から、風景としての車止めのコンペを行った。

#### 【金澤氏】

○豊かさを考えたとき、物が豊富となるが、地方の視点からゆとりと絆が真の豊かさの要件。ゆとりは、時間と空間と心のゆとり。抽象的、普遍的な空間では、人と人のつながりは介在しない。人間は、慣れ親しんだ環境から切り離されたとき、淋しさ、悲しさを抱く。地方はゆとりと絆も考えながら、生活、都市づくりを考えていくとよい。

○五感で感じる環境づくりとして、視覚で見える形を考えがちだが、匂いや音も魅力。

**【村木氏】**

○米国ポートランド市がにぎわっている理由は、まちをコンパクトにしたこと。住民投票を経て、外側にまちを若干伸ばしつつ、内側を高密度化し、周辺に将来の人口増加の受け皿となるエリアを設定。にぎわいには、住宅のみならず、業務、居住などの混在が必要。人口減少に向け、どのようなコンパクトな土地利用とするのか考えないといけない。

○札幌市では、行政が考える拠点と、市民の利用率が必ずしも一致していない。トリップを目的別で見ると、買い物、社交、病院などの割合が多く、拠点への誘導が求められる。人口減少でまちを維持するには、何か考えなければならず、人をどのように、どこへ集約化し、そのためのインセンティブと反対の負荷のようなものを与えるかが重要。

**【勢一氏】**

○地域の将来を描く上で、少子高齢化、人口減少などで、成長、拡大型の都市の夢とは異なる価値を追求することが迫られる。

○都市の価値は時代に応じて変遷し、住民が認める価値と他者が認める価値がある。いろいろな価値観がある中で、一律、単純に決めることはできず、何が価値なのかを住民自身も考える機会が必要。連携などの中で生まれてくる役割と共創の視点を入れてみてはどうか。同じ負担で役割を担うのではなく、相応の役割を担う姿勢を品格と呼びたい。

**【名和田氏】**

○自治会加入率が低下し、歴史的な危機。自治会の大切さを地域の人に見せていくことが必要。地域福祉的な新しい課題の解決に取り組むことが、地域コミュニティの再生に必要。

○コミュニティ再生には、仲間内しか信用しないという精神構造から、人を人として尊重しつつ、緩い信頼関係で付き合うという公共世界を再建し、市民的な文化活動によって、信用することが必要。



## 6 世の中の大きな流れ

人、モノ、カネ、情報が容易に国の垣根を超えて行き交うグローバル化の時代において、世界や国内における社会、経済、政治の動きは、地方都市においても大きな影響を及ぼす可能性があり、全体を知ることとはとても重要と考えます。そこで、中核市であり、かつ県都でもある本市の未来の姿を検討していく前提として、今の世の中の大きな流れを把握します。

### (1) 世界情勢

#### ① 世界人口の増加

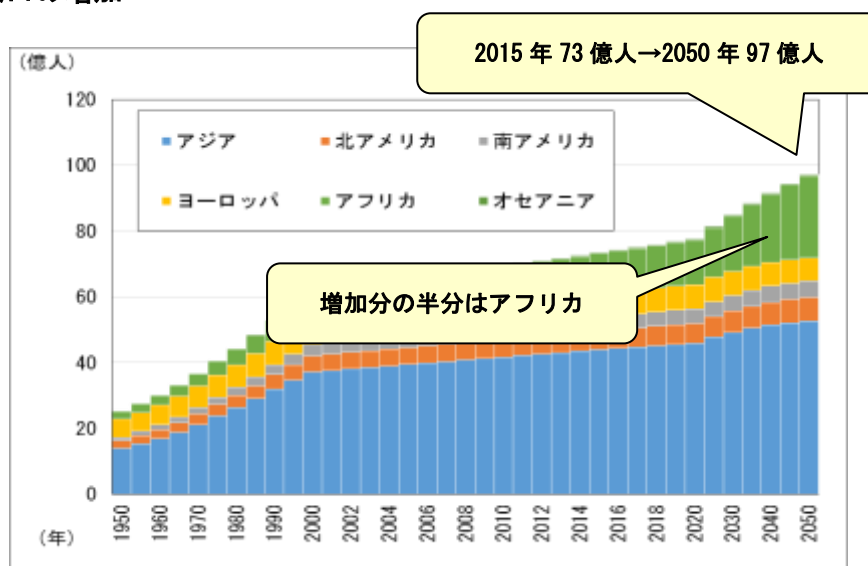


図7 世界の地域別人口推移、推計 (1950年～2050年)  
(総務省 世界の統計 2017)

#### ② 国際関係の動き

表11 国際関係の動き

欧州情勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各国首脳と、EU 懐疑派やポピュリズムとのせめぎ合い</li> <li>・EU 首脳はテロ対策、国境警備強化に本腰</li> <li>・Brexit 交渉は離脱条件で一定の進展がある可能性</li> </ul>
中東情勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国のサウジアラビア回帰が生むイランとの新たな緊張関係</li> <li>・シリア内戦は膠着状態。IS の領域支配は退潮傾向だが、イデオロギーに共鳴・呼応したテロが世界各国で発生するリスク</li> </ul>
米中関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米中関係は融和が基調</li> <li>・TPP 離脱後の米国のアジア太平洋地域への関わり方が焦点</li> <li>・米国の対中貿易赤字は中国の市場開放により緩和方向</li> <li>・朝鮮半島情勢は北朝鮮の核開発継続による不確実性を伴う膠着状態</li> </ul>

(「2017 年後半の世界情勢展望」(三井物産戦略研究所)より抜粋、一部編集)

### ③ 世界の経済成長

世界全体は 3%前後、G7 は 1.5%前後、ASEAN5 は 5.0%前後の実質 GDP 成長率。一方、日本は 1%前後。

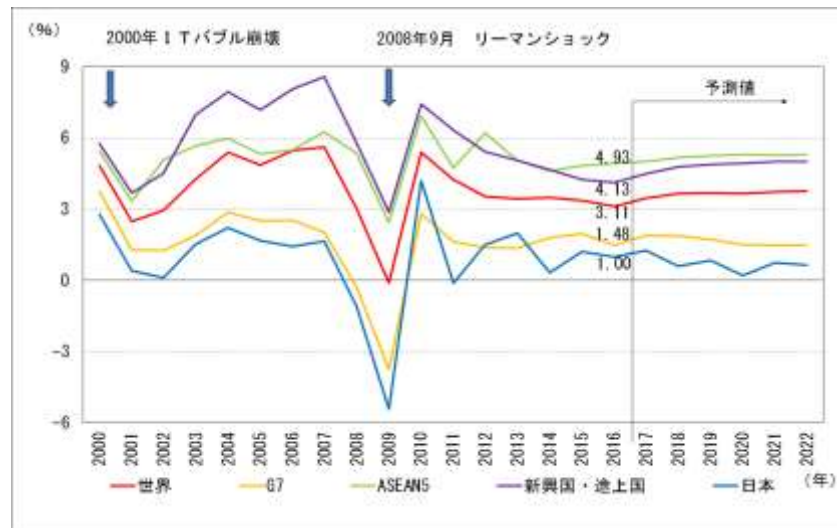


図 8 世界の实質 GDP 成長率の推移と見通し (IMF WEO April 2017)

### ④ 社会の発展を支える技術革新

これまで、技術の変化とともに、社会は大きな発展を遂げてきた。現代は、IoT※及びビッグデータ、人工知能 (AI) 等をキーテクノロジーとする第 4 次産業革命の時代。

表 12 技術の変化

18 世紀末	第 1 次産業革命	動力を取得 (水力、蒸気機関)
20 世紀末	第 2 次産業革命	動力が革新 (電力モーターによる大量生産)
1970 年代初頭	第 3 次産業革命	自動化が進む (コンピューターによるオートメーション化)
現代	第 4 次産業革命	自律的な最適化が可能に (大量の情報を基に人工知能が自ら考えて最適な行動をとる)

(内閣府及び経済産業省ホームページを基に作成)

※Internet of Things の略。モノのインターネットと呼ばれ、あらゆるモノがインターネットにつながり、情報の相互交換で新たな付加価値を生み出す仕組み

## (2) 国内情勢

### ① 人口減少、少子高齢化

少子高齢化の進展で日本の人口構成は大きく変わります。(図9)

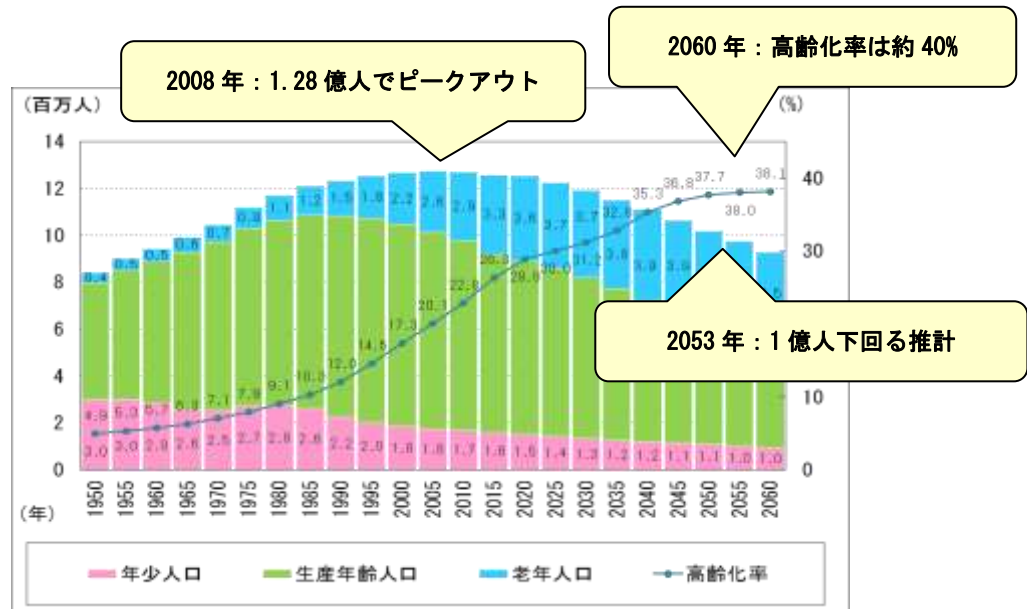


図9 日本の総人口推移(1950年~2060年)  
 (総務省 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所  
 日本の将来推計人口(全国) 出生中位(死亡中位) 推計)

### ② 止まらない東京への一極集中

人口の偏在による自然災害リスクの高さも指摘されています。(図10、図11)

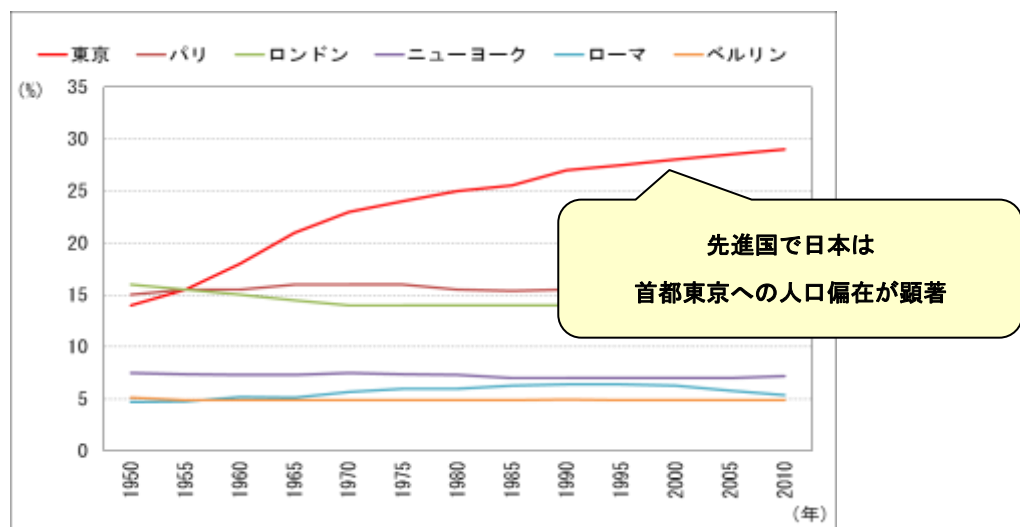


図10 先進国主要都市人口の全人口に占める割合  
 (日本創成会議 人口減少問題検討分科会資料)

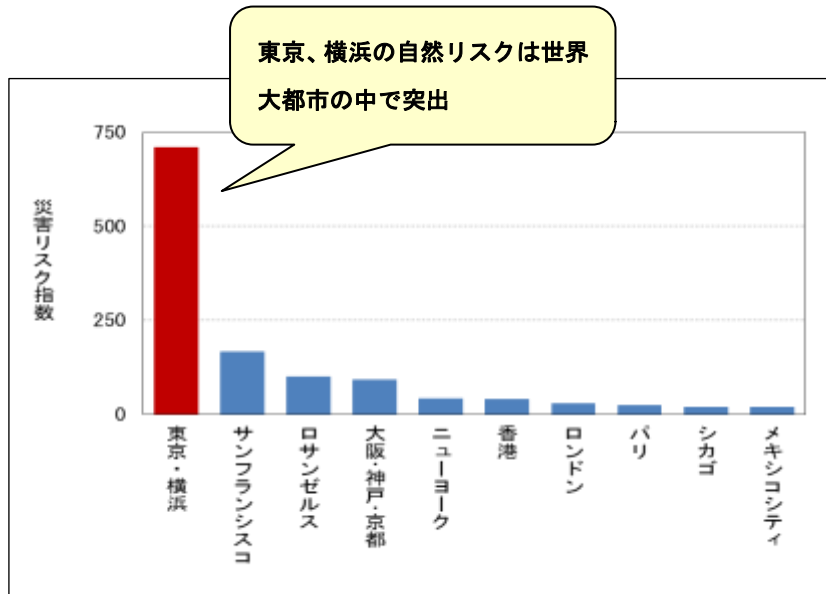


図 11 世界大都市の自然災害リスク指数ワースト 10 (ミュンヘン再保険会社 アニュアル・レポート 2002)

### ③ 国の財政の硬直化

財政の硬直化が続いています。(図 12)

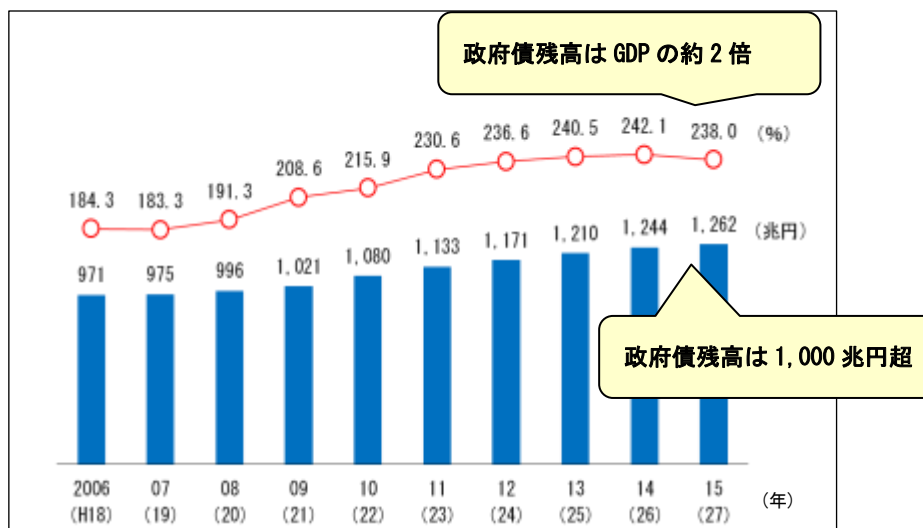


図 12 政府債務残高及び対 GDP 比の推移 (2006 年～2015 年)

#### ④ 頻発する自然災害

南海トラフ巨大地震は、今後 30 年以内の発生確率が 70%とされ、巨大災害に関する脅威が高まっています。また、異常な局所的な集中豪雨も頻発しています。

#### ⑤ リニア中央新幹線の開通（2027 年）

2027 年、東京-名古屋間は約 40 分となり、岐阜市から東京までの所要時間も約 60 分短縮し、約 60 分になります。この時間的距離の短縮に伴い、岐阜市から約 1 時間圏の人口も、約 1,580 万人から約 4,100 万人と飛躍的に拡大します。（図 13）

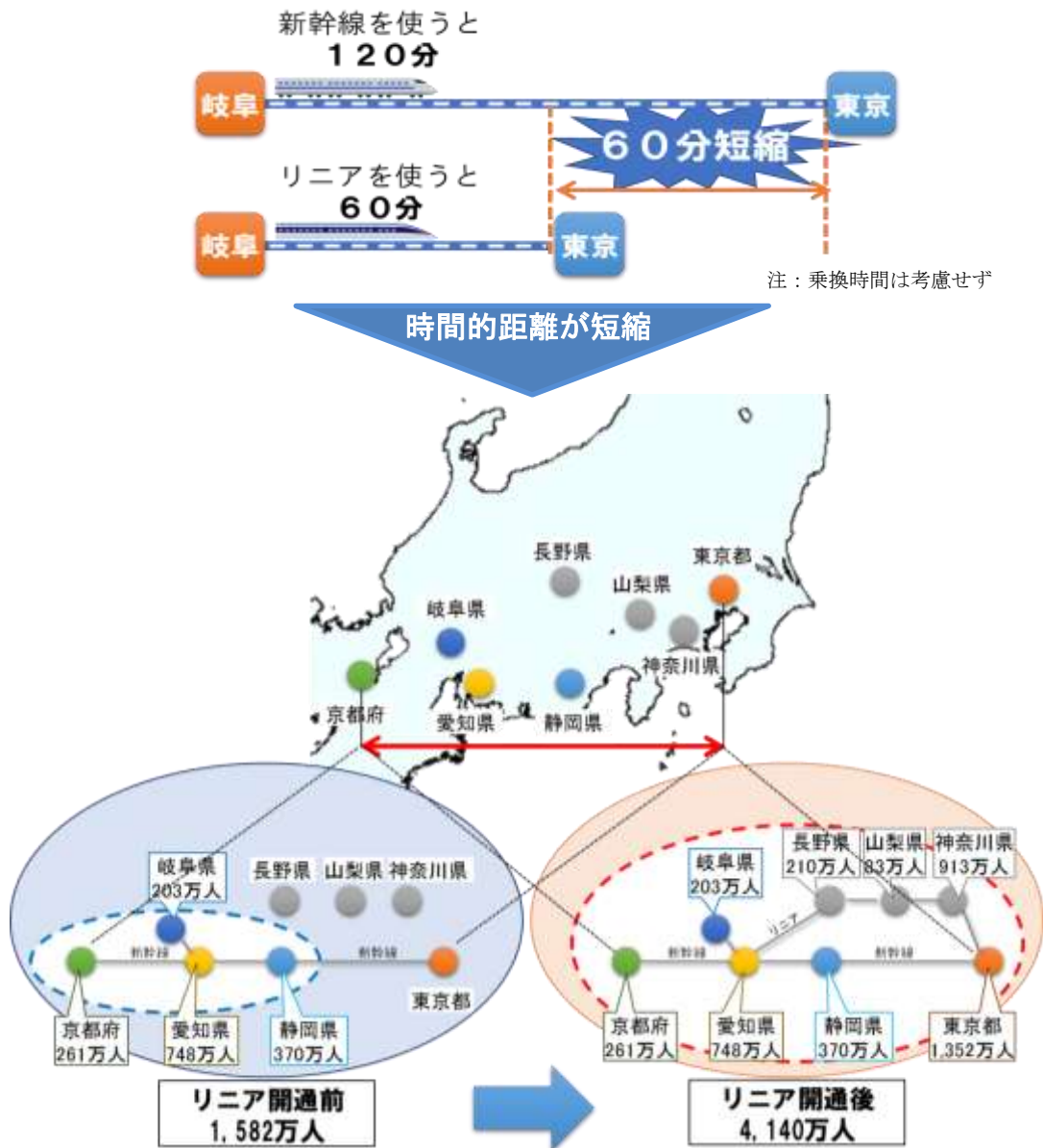


図 13 リニア中央新幹線開通に伴う岐阜市から所要時間約 1 時間圏の変化のイメージ図

注：人口は各都府県の平成 27 年国勢調査  
浜松市、京都市が岐阜市から 1 時間圏であり、  
人口は、京都府、静岡県の人口を採用

## ⑥ インバウンドの増加

2015年に訪日外国人数が日本人出国者数を上回るなど、インバウンド（訪日外国人旅行）の増加は続いています。（図14）

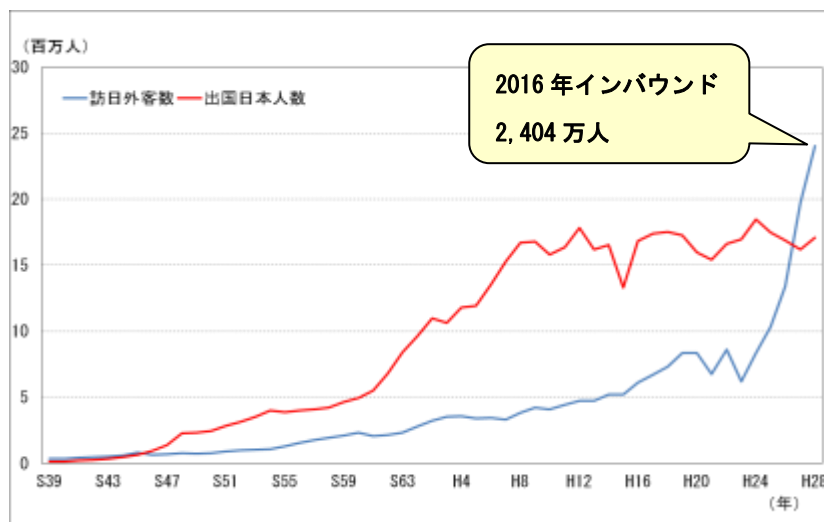


図14 日本の観光動向  
(日本政府観光局 年別 訪日外国人数・出国日本人数の推移)

### (3) 岐阜市の状況

#### ① 総人口、人口構造

15歳未満は減少。65歳以上は増加

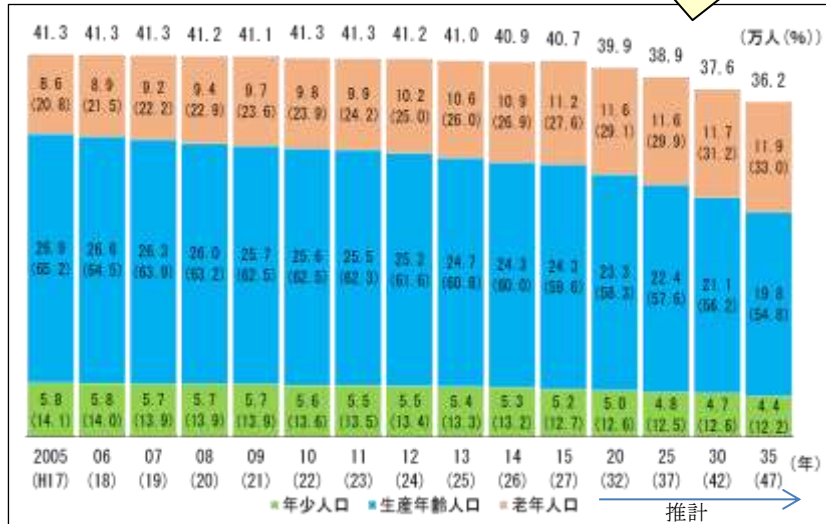


図 15 岐阜市の総人口の推移と推計 (2005年～2035年)  
 (総務省 国勢調査、2006～2009年・2011～2014年 岐阜県人口動態統計調査、  
 2006年に旧柳津町と合併したため、上記は全て旧柳津町を含む)

少子高齢化が加速。

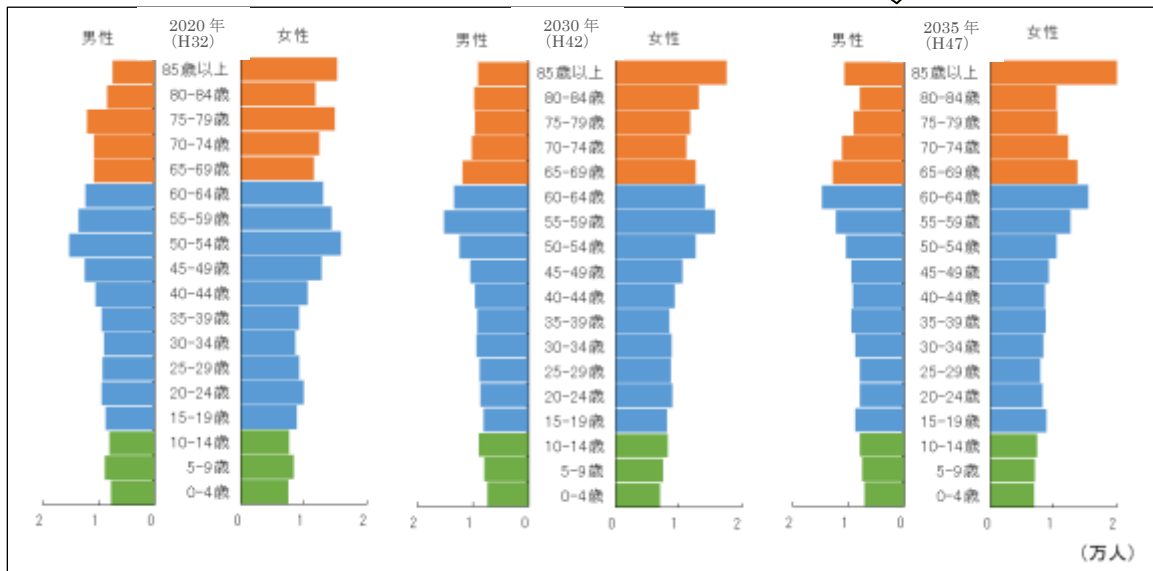


図 16 岐阜市の人口ピラミッド推計 (2020年～2035年)  
 (総務省 国勢調査を踏まえ岐阜市独自推計)

② 社会動態

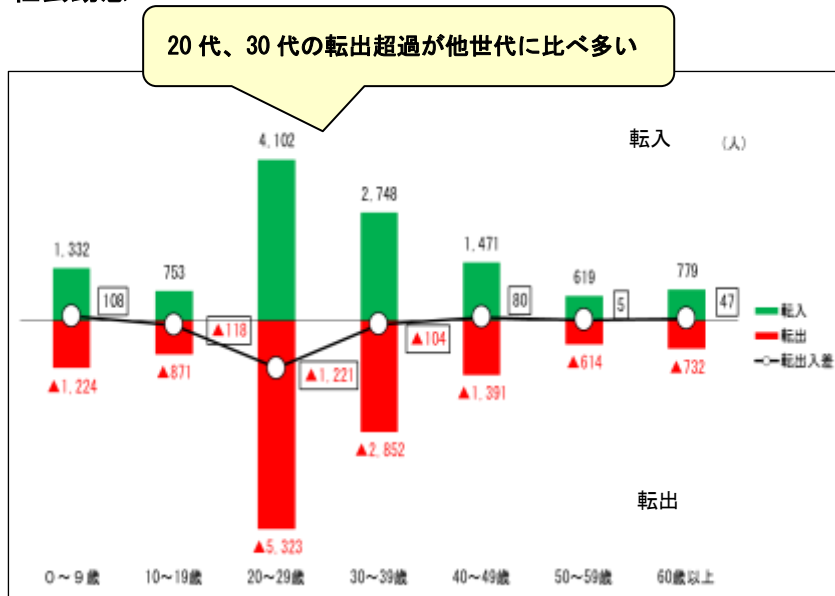


図 17 岐阜市の社会動態 (2016年度 10歳階級別)  
(岐阜市住民基本台帳 (海外、不明分除く))

20代、30代の転出の理由は職業上が最多

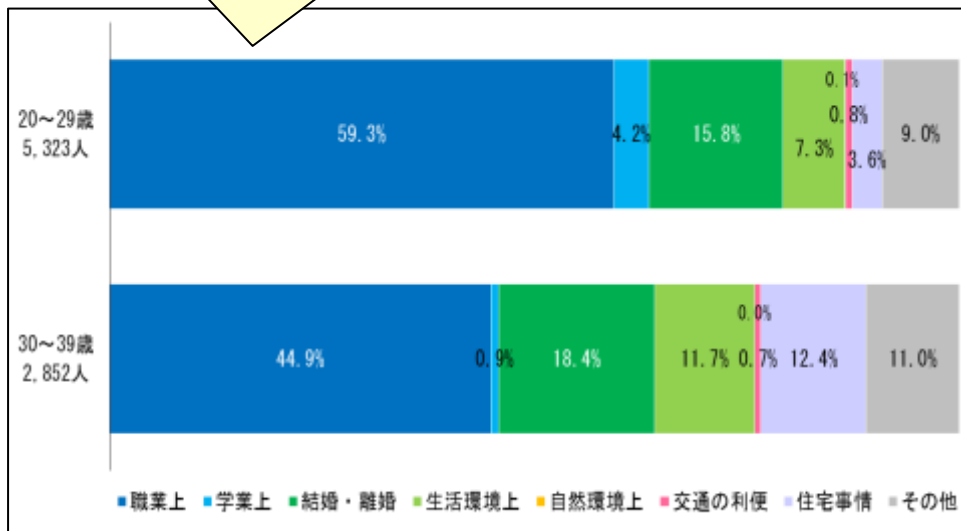


図 18 転出理由 (2016年度 20歳代、30歳代)  
(岐阜市住民基本台帳 (海外、不明分除く))



③ 世帯数、世帯人員

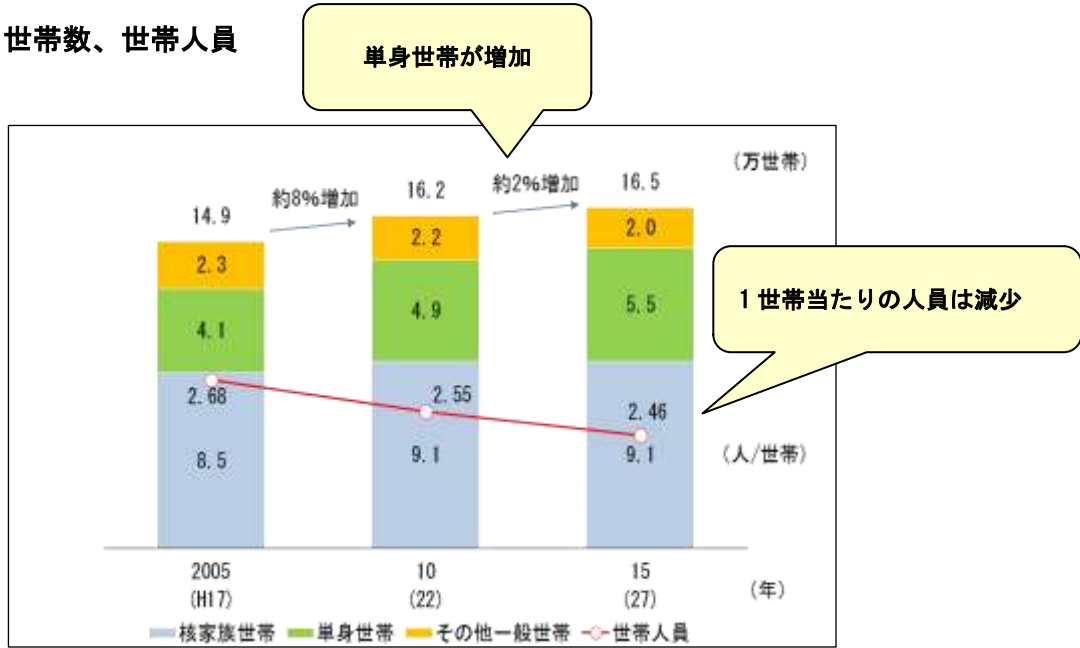


図 19 岐阜市の世帯数、世帯人員の推移 (2005年～2015年)  
 (2006年に旧柳津町と合併したため、上記は全て旧柳津町を含む)  
 (総務省 国勢調査)

④ 合計特殊出生率、出生数

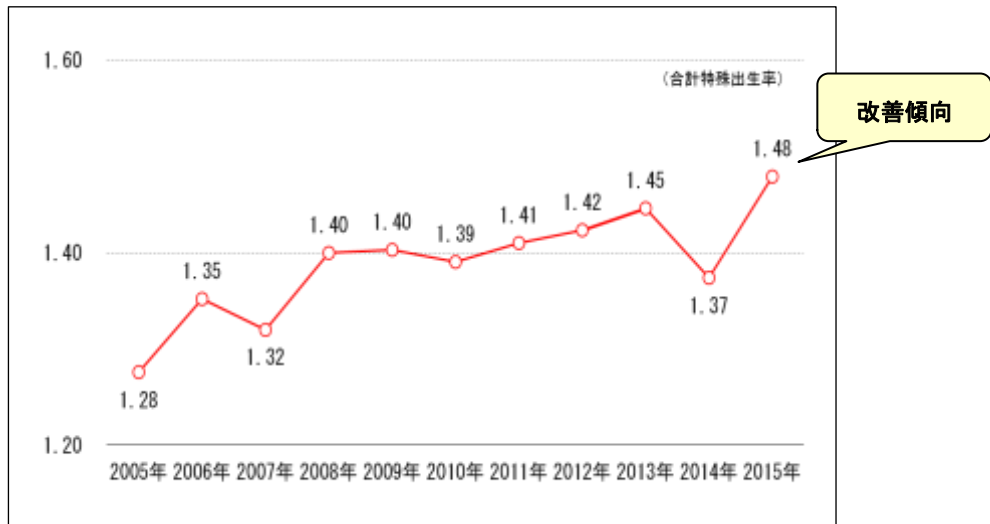


図 20 岐阜市の合計特殊出生率の推移 (2005年～2015年)  
 (岐阜市衛生年報)

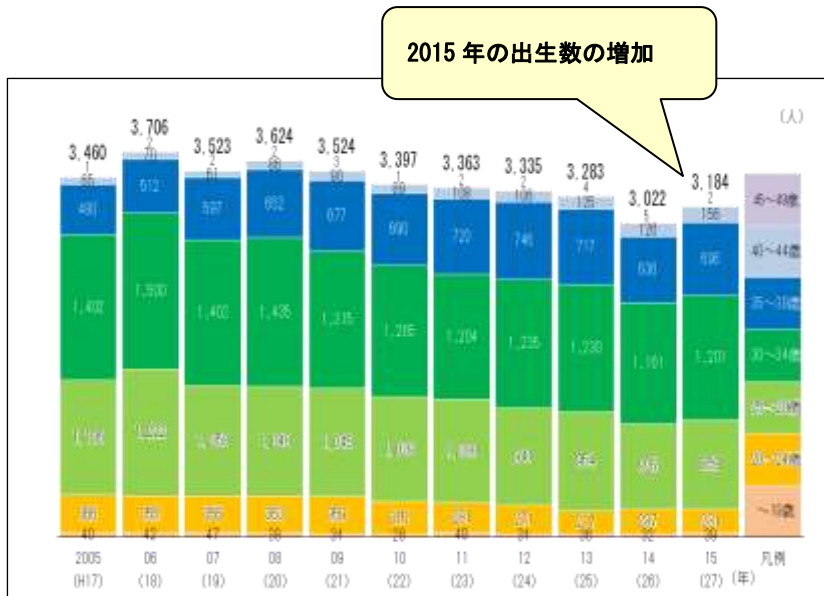


図 21 岐阜市の出生数の推移（2005 年～2015 年）  
（岐阜市衛生年報）

⑤ 平均寿命

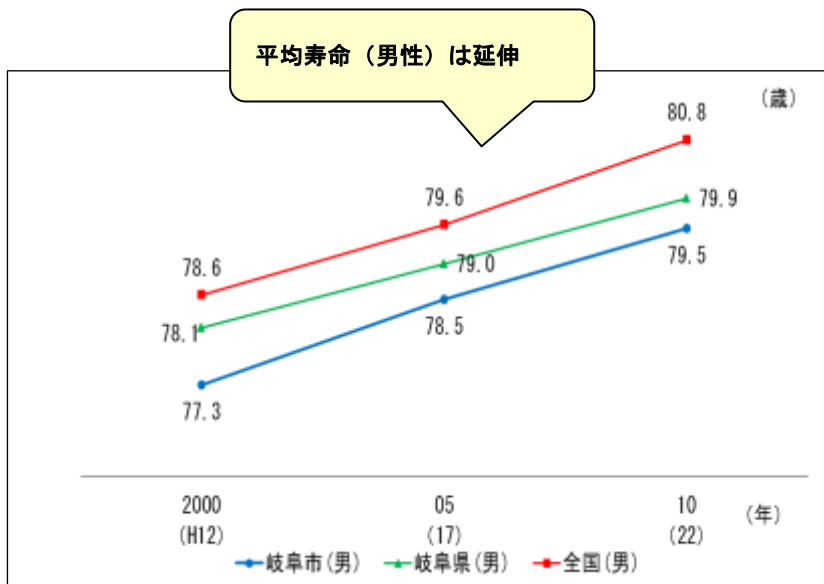


図 22 岐阜市の平均寿命の推移  
（2000 年～2010 年 男性）（全国、岐阜県を含む）  
（市区町村別生命表、都道府県別生命表、完全生命表（厚生労働省））

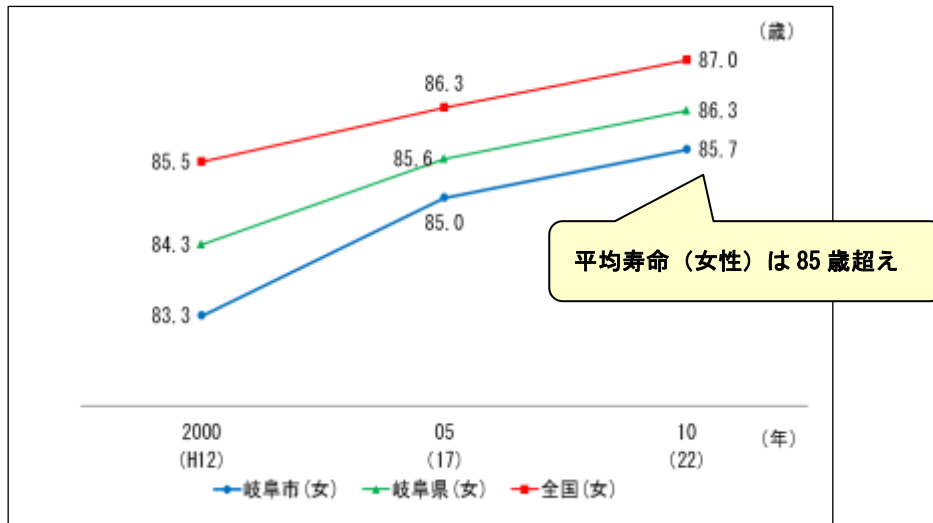


図 23 岐阜市の平均寿命の推移  
 (2000年～2010年 女性) (全国、岐阜県を含む)  
 (市区町村別生命表、都道府県別生命表、完全生命表(厚生労働省))

⑥ 要支援、要介護認定者数

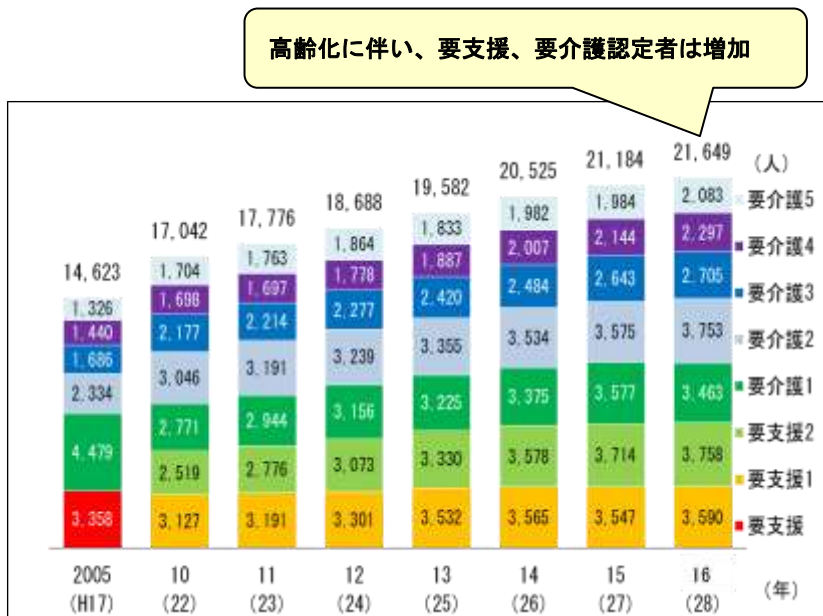


図 24 岐阜市の要支援・要介護認定者数の推移(2005年～2016年)  
 (岐阜市介護保険事業実績分析報告書)

⑦ 産業

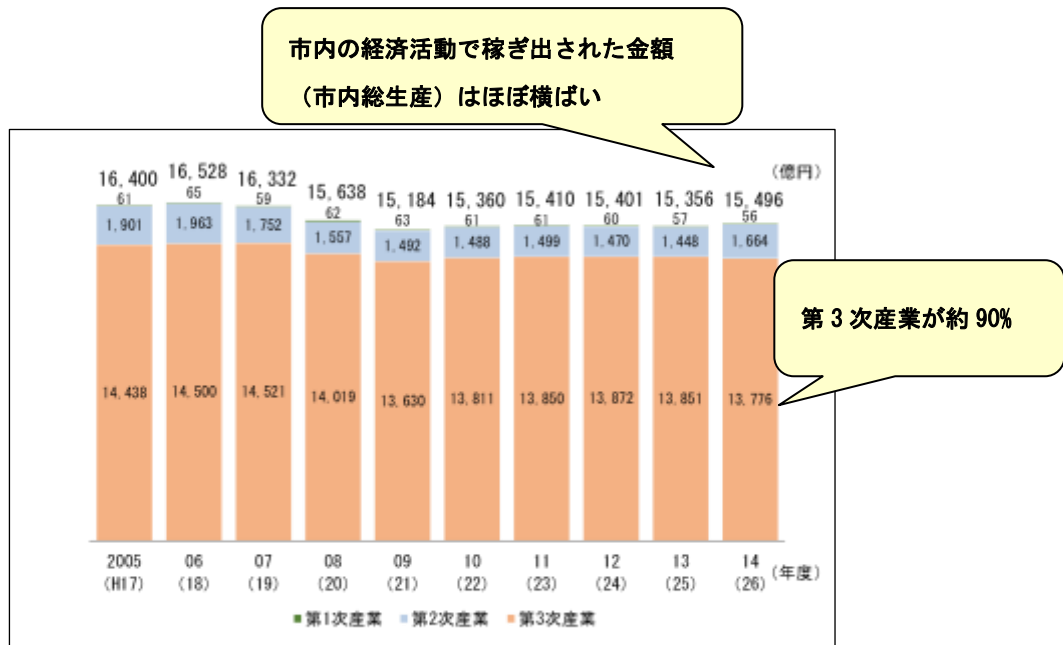


図 25 岐阜市内の総生産の推移 (2005 年度～2014 年度)  
(岐阜県 市町村民経済計算)

⑧ 雇用

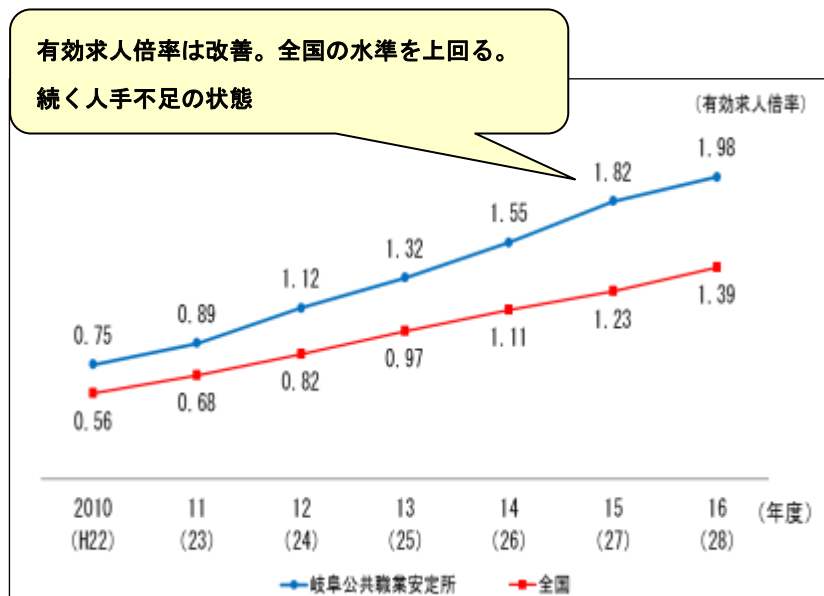


図 26 岐阜公共職業安定所管内の有効求人倍率の推移 (2010 年度～2016 年度)  
(一般職業紹介状況 (岐阜労働局))

岐阜公共職業安定所の管内市町：岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町

⑨ 観光

近年増加傾向

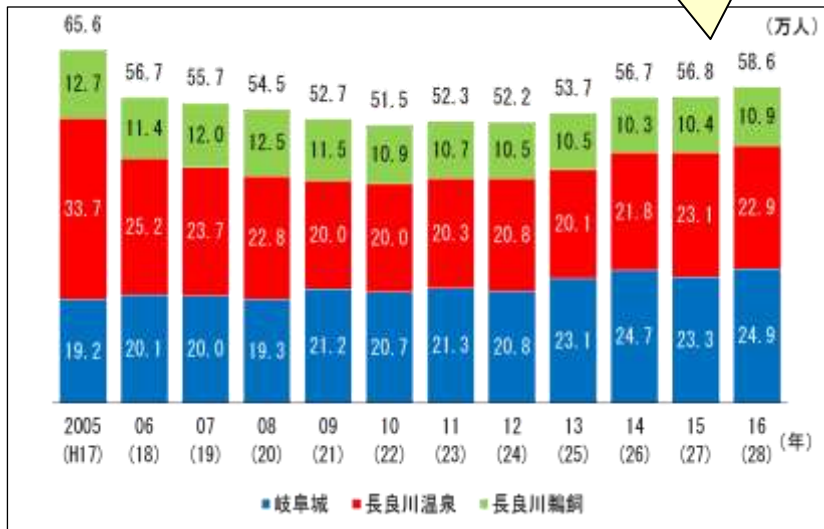


図 27 岐阜市の主要施設観光客数の推移 (2005 年～2016 年)  
(岐阜市観光統計)

外国人の占める割合は2ケタに

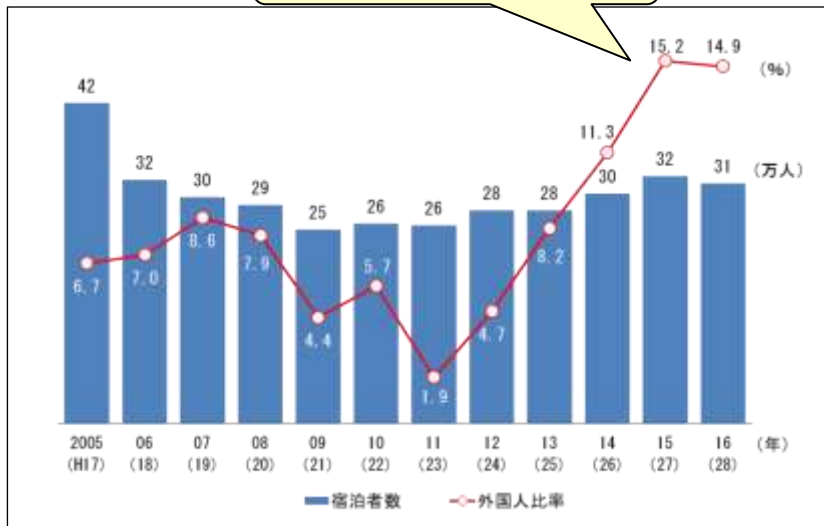


図 28 長良川温泉宿泊者外国人比率の推移 (2005 年～2016 年)  
(岐阜市観光統計)

⑩ 交通

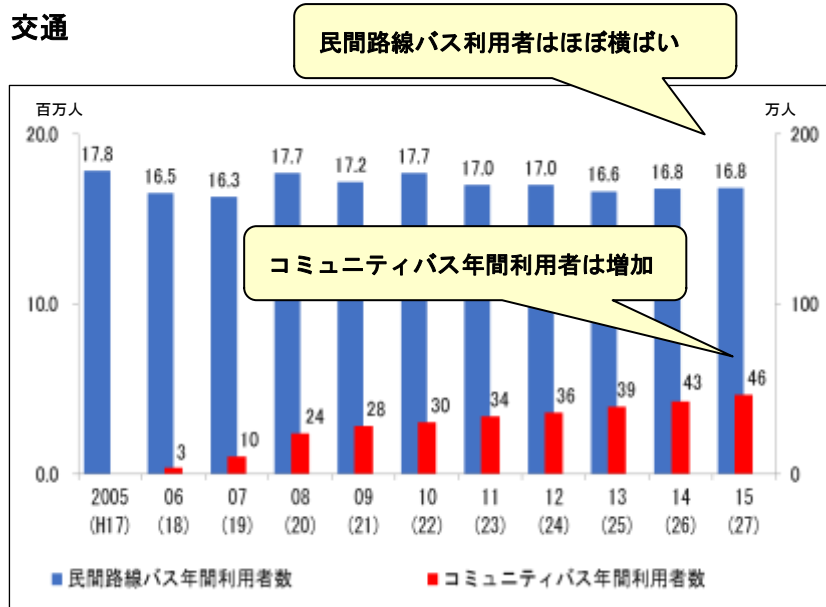


図 29 公共交通（コミュニティバス、民間路線バス）利用者数の推移（2005 年度～2015 年度）  
（岐阜市統計書、コミュニティバス（2006 年度開始）は岐阜市独自集計）

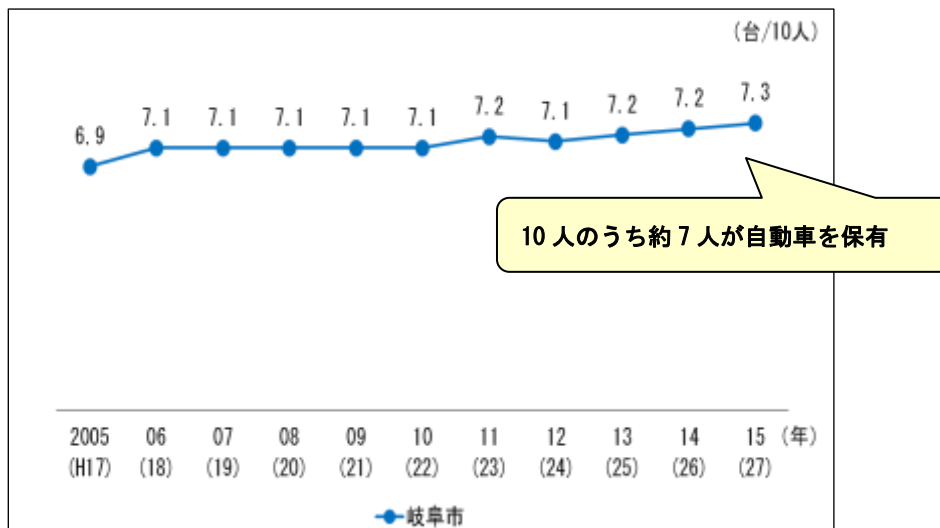


図 30 岐阜市の自動車保有台数の推移（2005 年～2015 年）  
（岐阜市統計書（2005 年は旧岐阜市のみ））

⑪ にぎわい

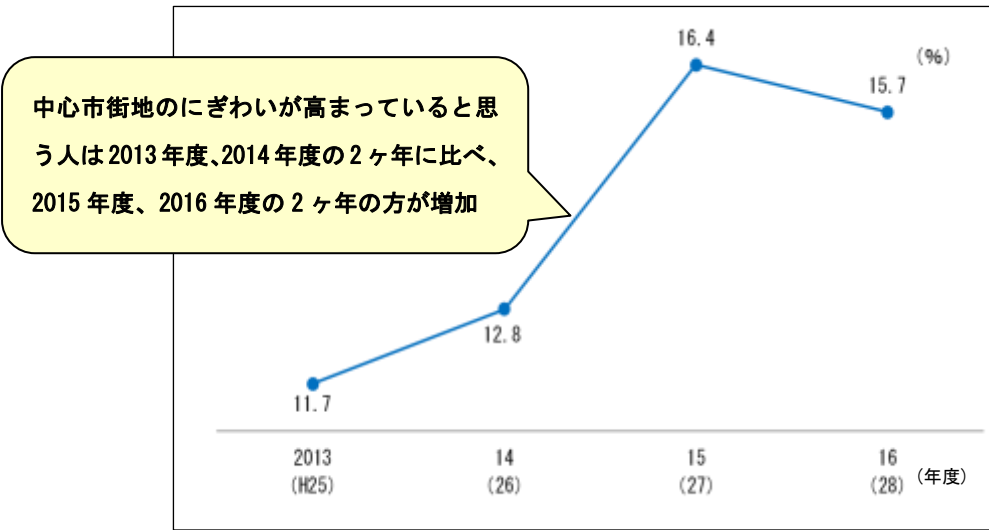


図 31 岐阜駅周辺や柳ヶ瀬などの中心市街地のにぎわいが高まっていると思う人の割合の推移（2013 年度～2016 年度）（市民意識調査（岐阜市））

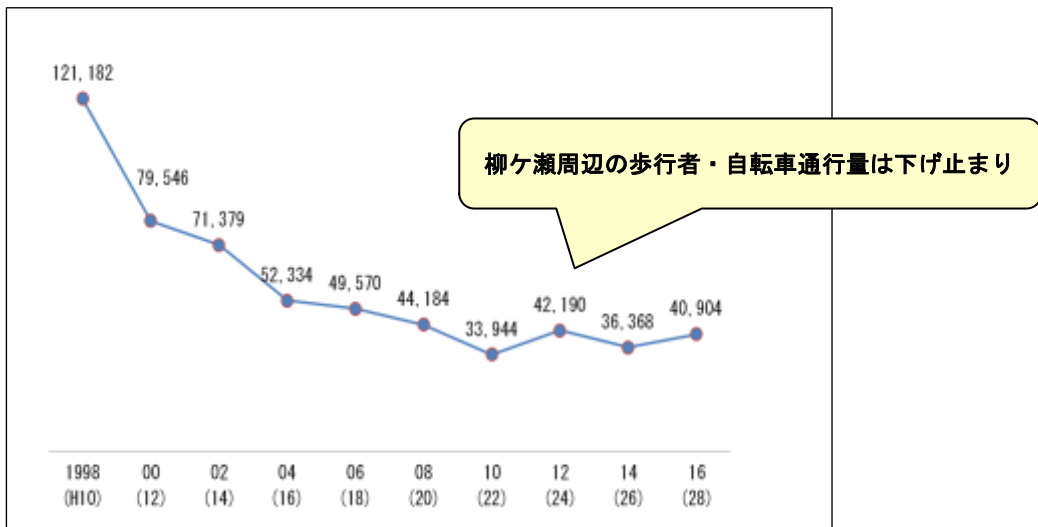


図 32 歩行者・自転車通行量（柳ヶ瀬周辺）の推移（1998 年度～2016 年度）（岐阜市独自集計）

⑫ 防災

\* 震度6弱以上

震度6弱	震度6強
市内の77%	市内の23%
固定していない重い家具の多くが移動、転倒する	立っていることができず、固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える

\* 約47%で液状化現象

地震動の継続時間が4分と長いことから、市内の約47%で液状化が起こる可能性があると予測。  
(地盤沈下等の危険性)

\* 人的・物的被害

建物被害	全壊	7,482棟
	半壊	21,029棟
	焼失棟数	106棟
人的被害	死者	257人
	負傷者	3,492人
避難者数		53,013人

図 33 南海トラフ巨大地震の市内被害予測  
(岐阜市独自想定)

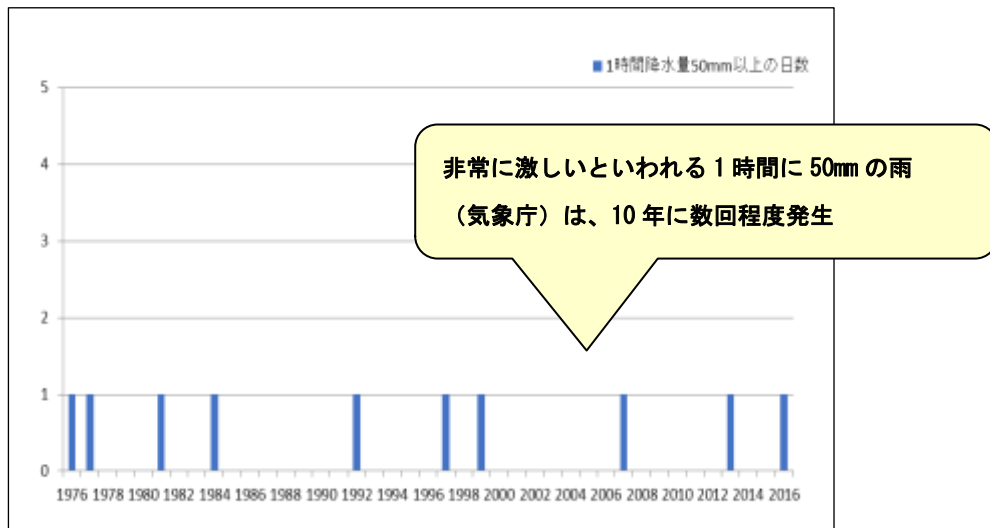


図 34 岐阜市の気象状況 (1時間降水量 50mm 以上の日数)  
(気象庁)



⑬ 安全

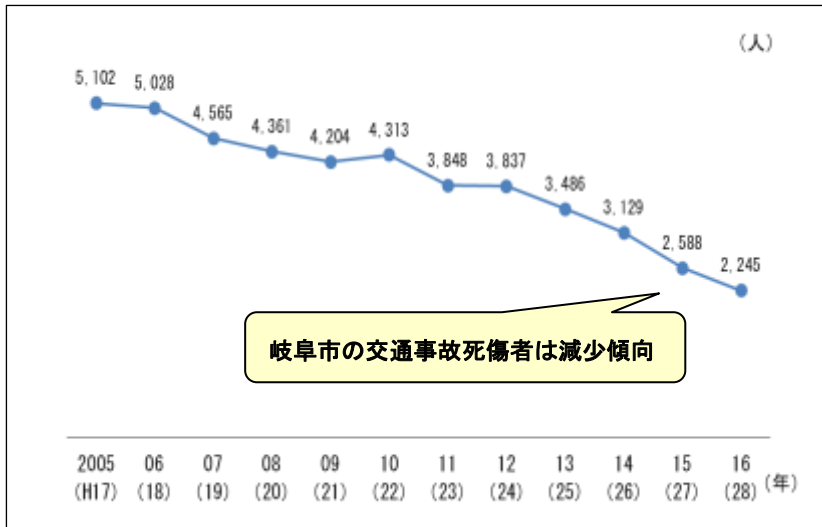


図 35 岐阜市の交通事故死傷者数の推移（2005年～2016年）  
（岐阜市交通安全重点推進施策）

⑭ 公共施設の老朽化

約 60%の公共施設で老朽化が進む

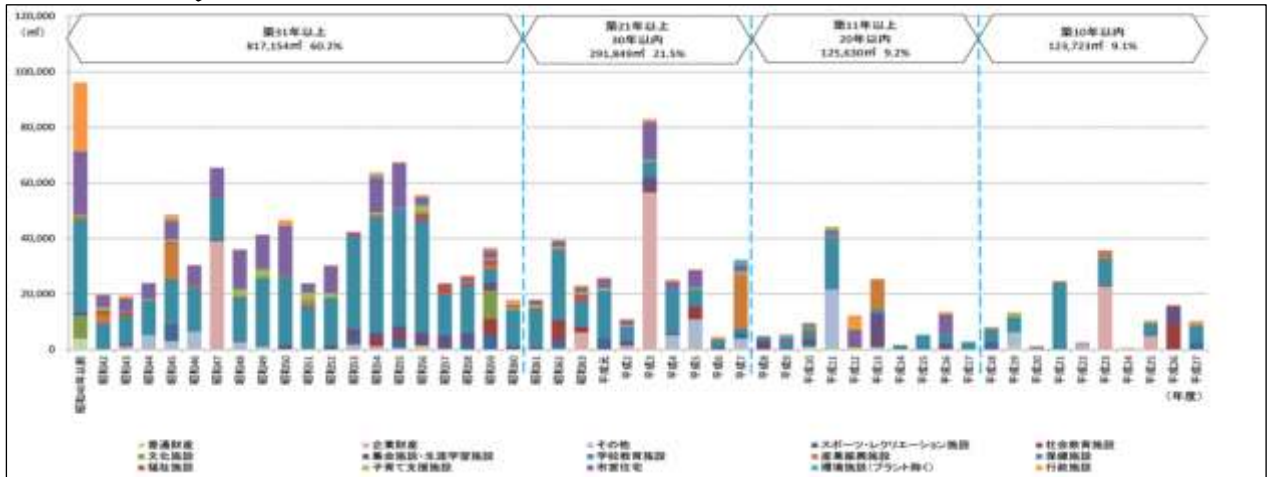


図 36 岐阜市の公共施設の老朽化状況（1965年度～2015年度）  
（岐阜市公共施設等総合管理計画）

⑮ 岐阜市の財政状況

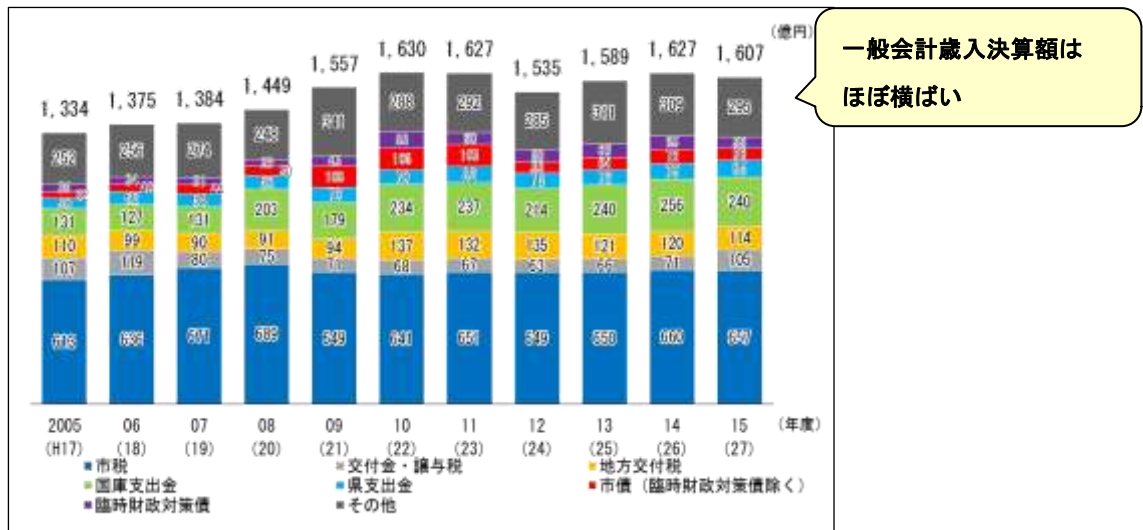


図 37 岐阜市の一般会計歳入決算額の推移 (2005年度～2015年度)

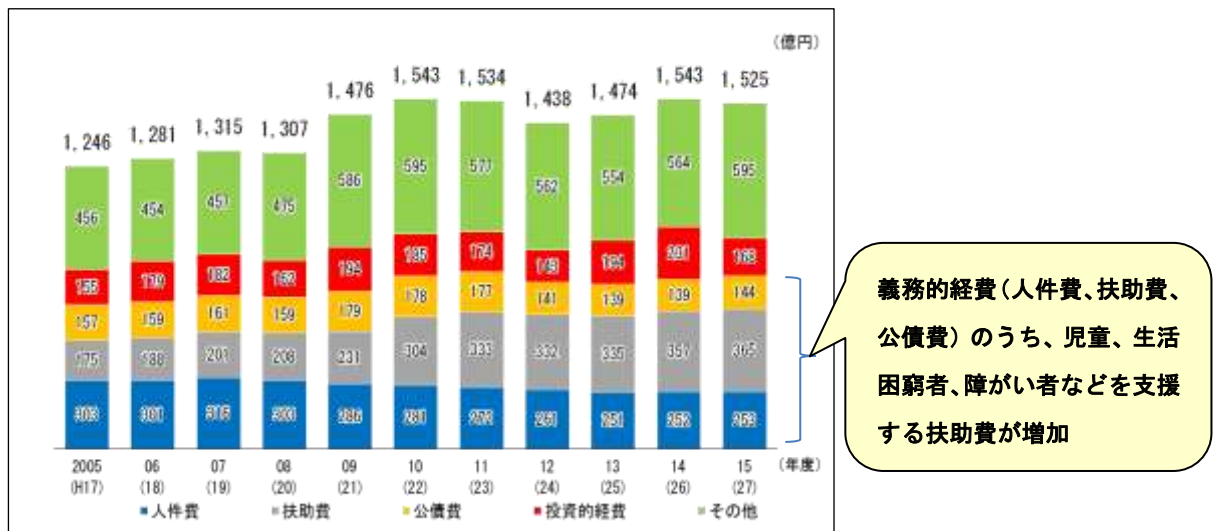
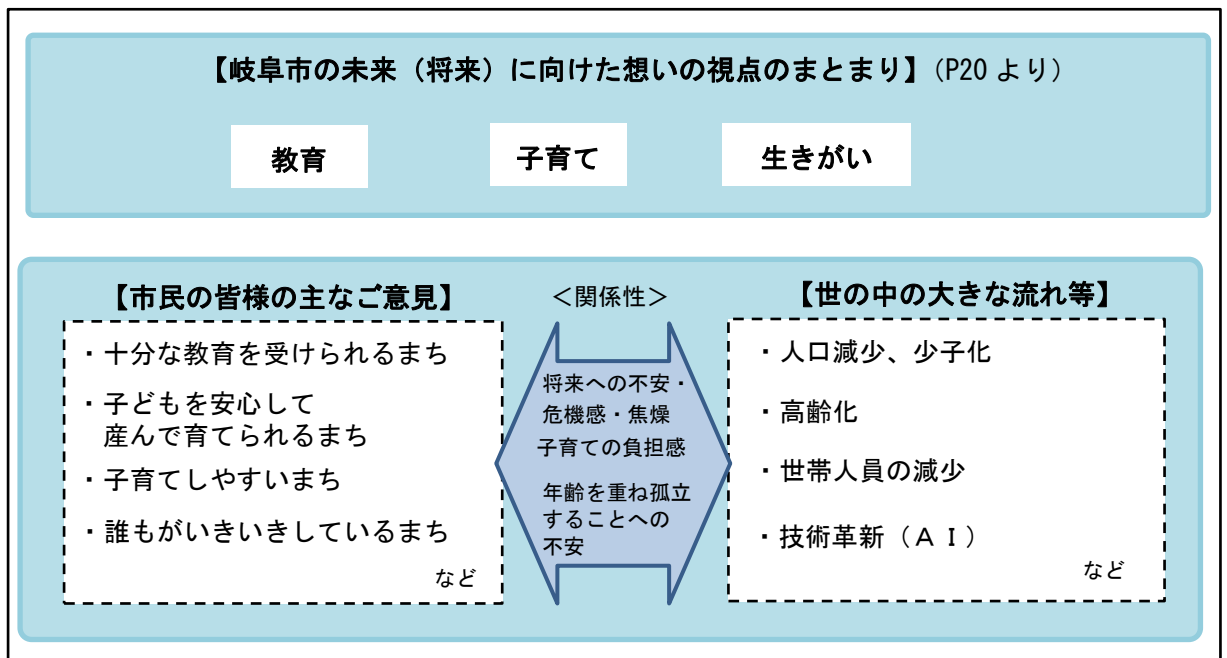


図 38 岐阜市の一般会計歳出決算額の推移 (2005年度～2015年度)

## 7 未来都市像検討に向けた基本的方向の整理

20 ページで整理しました、市民の皆様の岐阜市の未来（将来）に向けた想いの視点となる大きな 6 つの分野のまとめりごとに、主なご意見と、その背景となる現在の世の中の大きな流れや、有識者のお考え、また様々なデータを踏まえつつ、双方の関係性も整理しますと、行政課題として捉えるべき視点が見えてきました。それらから浮かび上がる未来都市像の基本的方向に市民の皆様からご意見をいただくため、次のように整理しました。

### 【整理 1】



### 【考えられる主な行政課題の視点】

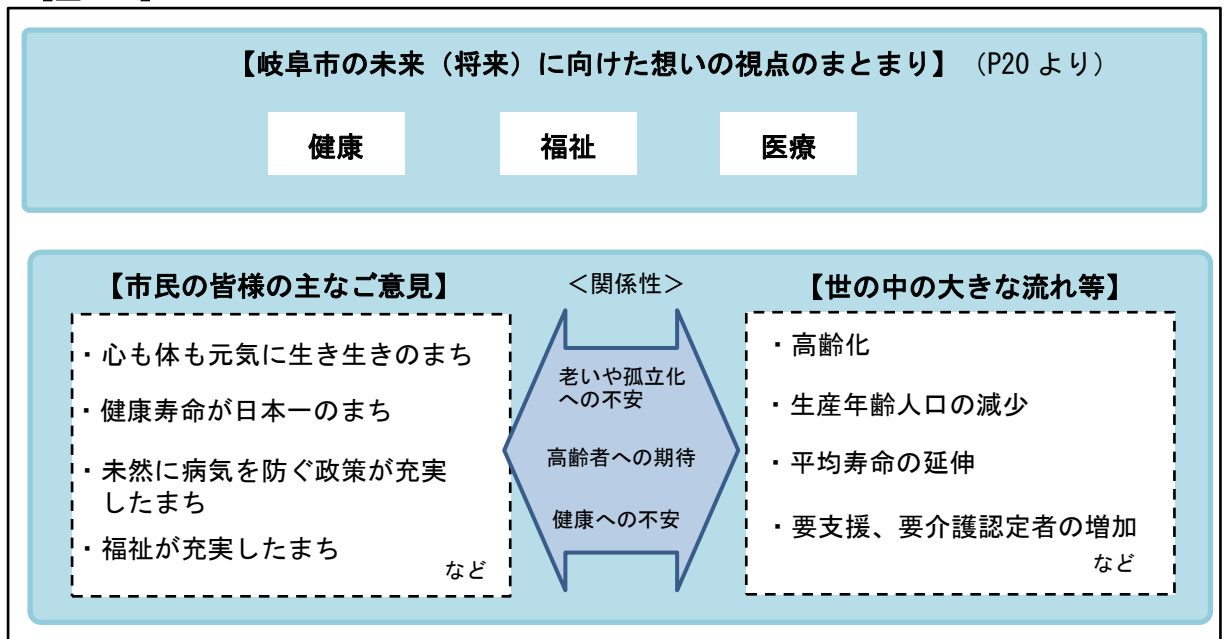
- ◆ 変化の激しい未来を生き抜く力の必要性
  - ◆ 核家族化などに伴う子育て力の低下への対応
  - ◆ 高齢化に伴う生きがいづくり、自分を伸ばす場、活躍の場づくり
- など

### ▶ 基本的方向その 1

**教育や子育てが充実し、人々が育まれるまちへ**



【整理2】



【考えられる主な行政課題の視点】

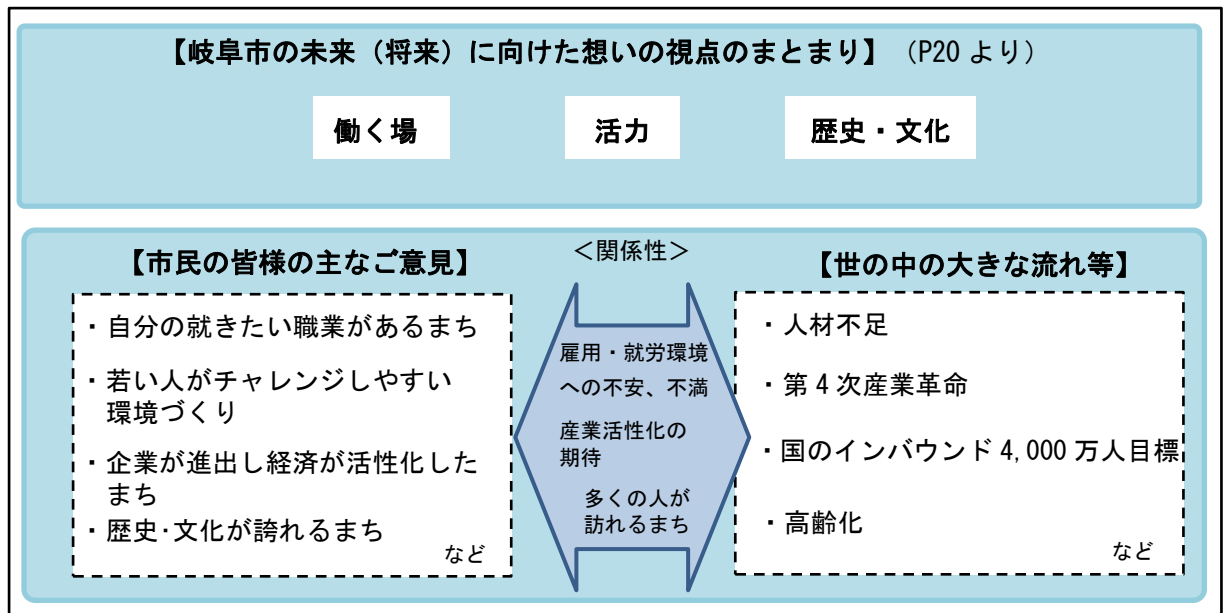
- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>◆高齢化に伴う医療費の増大</li><li>◆健康を推進する医療や予防</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>◆高齢者に対する住み慣れた地域の安心確保</li></ul> |
|---|--|
- など

▶基本的方向その2

**福祉や医療が充実し、生涯を通じて健康に暮らせるまちへ**



【整理3】



【考えられる主な行政課題の視点】

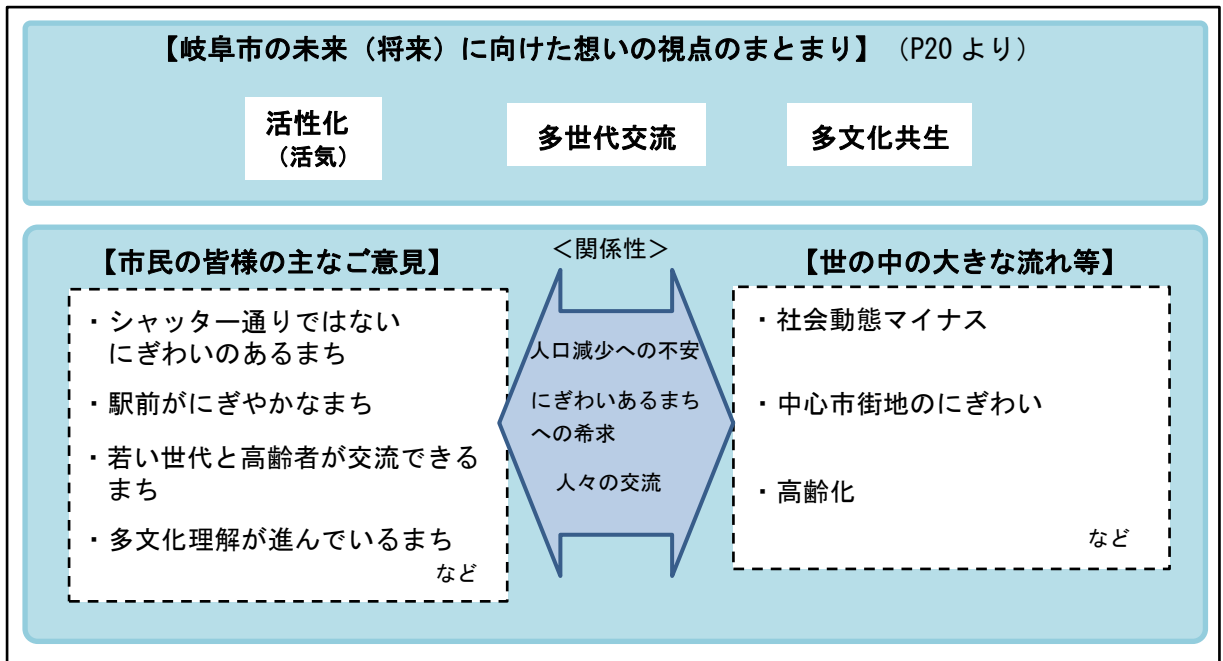
- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 少子高齢化による人材・後継者不足への対応</li> <li>◆ 新しい産業の誘致</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 技術革新による生産性の向上</li> <li>◆ インバウンドの取り込み</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> |
|--|---|

▶ 基本的方向その3

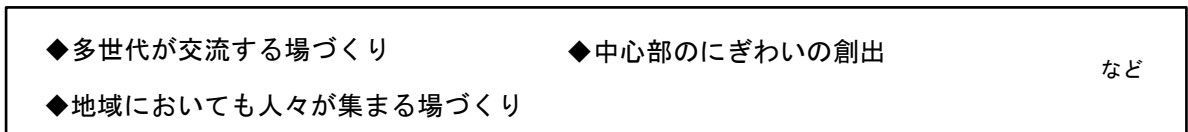
**古きと新しきを生かした産業が活性化し、活力のあるまちへ**



【整理 4】



【考えられる主な行政課題の視点】

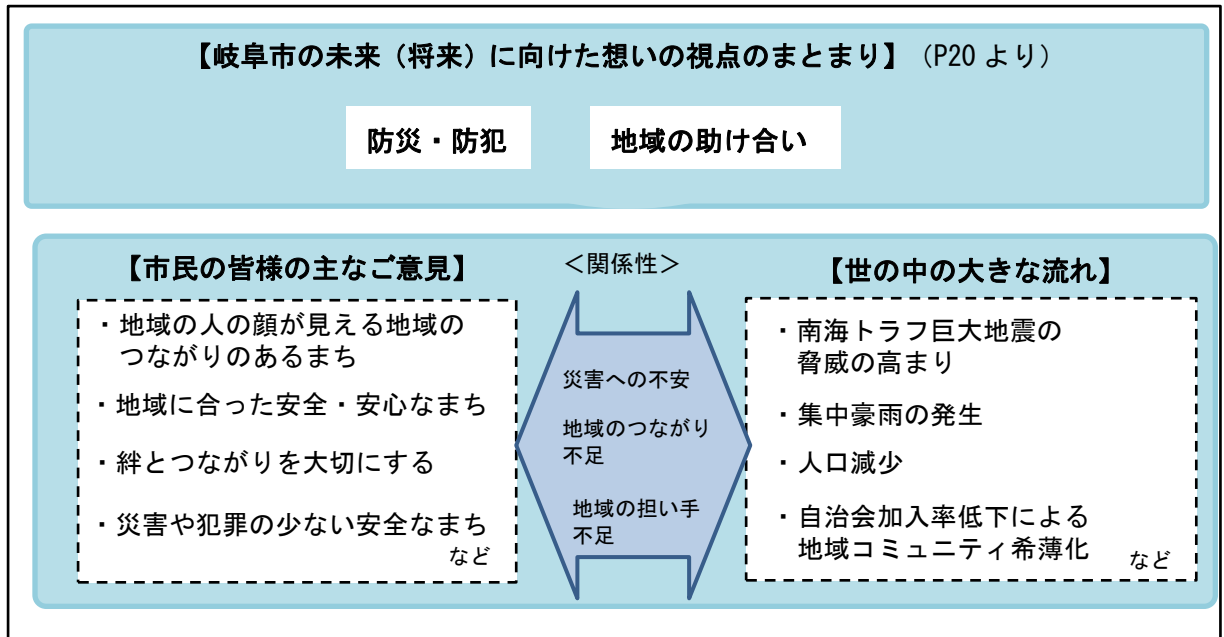


▶ 基本的方向その 4

**多くの人々が集まりにぎわう、活気のあるまちへ**



【整理5】



【考えられる主な行政課題の視点】

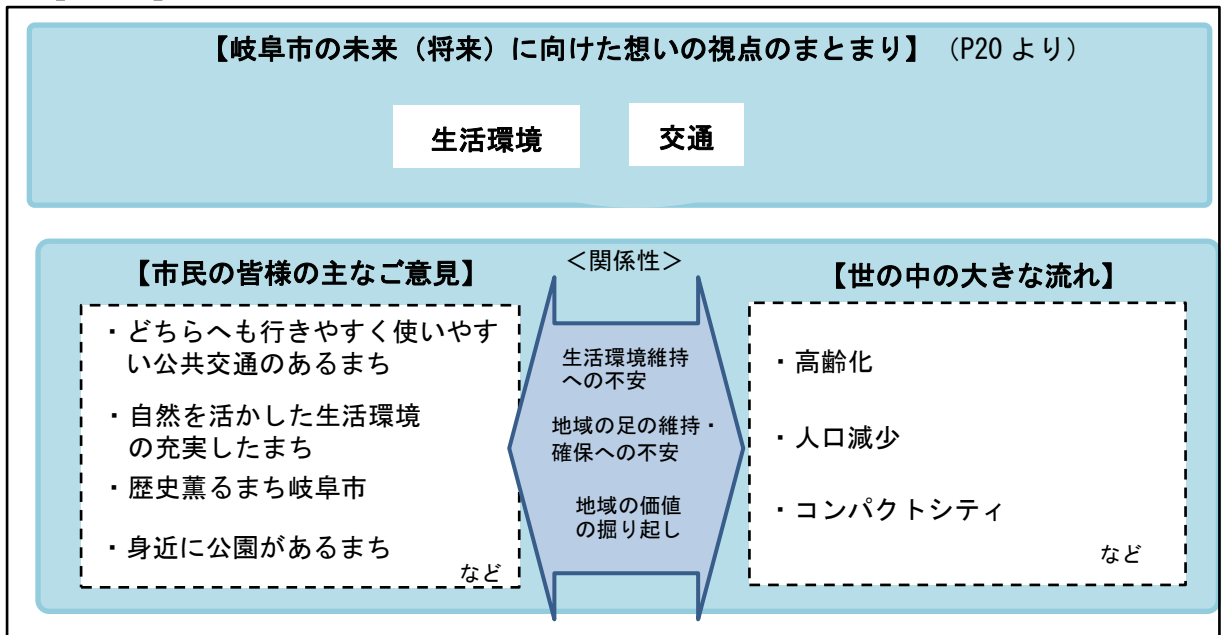


▶ 基本的方向その5

**地域と行政との協働による安全・安心なまちへ**



【整理6】



【考えられる主な行政課題の視点】

- ◆人口減少に伴う厳しい財政事情が懸念される中でのインフラ整備などの生活環境づくり
  - ◆地域の足（交通手段）の確保
  - ◆良好な景観の形成
- など

▶基本的方向その6

**快適な生活環境のある、住みやすいまちへ**





## 8 おわりに

未来都市像の検討にあたり、市民の皆様のご意見などから、これまでのような成長基調を前提とした夢を描く時代から、人口減少社会を見据えながら、一定の制限下において、現実的に、未来を描こうとする想いが伝わってきました。その想いから見えてきた6つの基本的方向を基点に、岐阜市の未来の姿を一緒に描いていきたいと考えています。

また、未来の姿の実現に向けた行政にとっての主な課題の視点も見えてまいりました。

今回のパブリックコメント手続では、これら基本的方向や行政課題の視点について、是非とも皆様からのご意見をお聞かせください。

岐阜市の未来都市像を描くため、皆様のご意見をお聞かせください

< 募集期間 : 11月10日(金) ~ 12月11日(月) >



問い合わせ先

岐阜市役所 企画部 総合政策課 〒500-8701 岐阜市今沢町18番地

TEL : 058-214-2019、FAX : 058-264-1719、E-mail : [seisaku@city.gifu.gifu.jp](mailto:seisaku@city.gifu.gifu.jp)